

書評 201908



殺しの柳川〜日韓戦後秘史〜

竹中 明洋 著

小学館

差別と貧困に暴力で抗った男は、柳川組を率いた後、祖国発展のために身を捧げた。戦後史の闇に埋もれたエピソードをすくい、存命者の証言を集めて、国家を動かしたヤクザ・柳川次郎の生涯を伝える。

産経新聞 2019/08/04

2019:7./ 335p

978-4-09-388710-6

本体 ¥1,750+税



おでかけおでかけ

岩崎書店

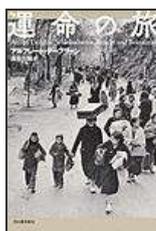
うさぎの親子は、とってもなかよし。おじいちゃんとおばあちゃんのおうちにおでかけです。乗り物は何かな? バス? それとも飛行機? ママが運転する車で、さあ、いよいよ出発です!

産経新聞 2019/08/04

2019:4./ 25p

978-4-265-85154-6

本体 ¥1,100+税



運命の旅

アルフレート・デーブリン、長谷川 純 著

河出書房新社

パリ陥落から家族との別離、ひとりぼっちの難民収容所、スペインへの脱出、ハリウッドへの亡命、ベルリンへの帰還まで。「ベルリンアレクサンダー広場」の作家が綴る、ナチス・ドイツからの悪夢のような逃亡記。

産経新聞 2019/08/04

2019:6./ 394p

978-4-309-20771-1

本体 ¥4,800+税



イタリアン・シューズ

ヘニング・マンケル、柳沢 由実子 著

東京創元社

ひとり離れ小島に住む元医師フレドリックの元に、37年前に捨てた恋人ハリエットがやってくる。治らぬ病に冒された彼女の願いをかなえるべく、フレドリックは島をあとにするが…。孤独な男の贖罪と再生、そして希望の物語。

産経新聞 2019/08/04

2019:4./ 349p

978-4-488-01087-4

本体 ¥1,900+税



若い読者のための『種の起源』〜入門生物学〜

チャールズ・ダーウィン、レベッカ・ステファオフ、鳥見 真生 著

あすなろ書房

ダーウィンは、どのように独自の思考を組み立てたのか? 生物学の礎「種の起源」のボリュームを圧縮し、言葉も平易に置き換えてリライト。歴史的名著のエッセンスを凝縮したコンパクト版。現代科学の動向に関するコラム付き。

産経新聞 2019/08/04

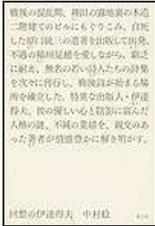
2019:5./ 224p

978-4-7515-2937-9

本体 ¥2,500+税



- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2019年9月時点での税抜価格です。



回想の伊達得夫

中村 稔 著
青土社

特異な詩書出版社・書肆ユリイカの社主、伊達得夫とはどういう人物なのか。優しい心と陰影に富んだ人格の謎、不滅の業績を、親交のあった著者が情感豊かに解き明かす。

産経新聞 2019/08/04

2019:6./ 253p
978-4-7917-7176-9
本体 ¥1,800+税



証言イチロー〜「孤高の天才」の素顔と生き様〜

別冊宝島編集部 編
宝島社

不世出のアスリート、イチローの哲学と素顔とは？ 田口壮、内川聖一、松中信彦…。現役時代にチームメイトや指導者、記者、裏方として交流があった人々が、心に残るイチローとのエピソードを語る。

産経新聞 2019/08/04

2019:5./ 335p
978-4-8002-9521-7
本体 ¥1,500+税



怪しい戦国史(産経セレクト S-015)

本郷 和人 著
産経新聞出版

歴史は疑うから面白い！ 信長の兵力、秀吉の行軍力、信玄の城攻め…。東京大学史料編纂所の本郷教授が合戦史の定説を疑い、戦国武将たちのリアルを分析する。『産経新聞』連載に加筆、再構成。

産経新聞 2019/08/04

2019:7./ 253p
978-4-8191-1369-4
本体 ¥880+税



明治・大正・昭和日本人のアジア観光〜旅行ガイドブックから読み解く〜

小牟田 哲彦 著
草思社

古い旅行ガイドブックを詳細に読み解き、時刻表や路線図などを駆使して、大日本帝国時代と戦後のアジア旅行の実態を検証。朝鮮・満洲・中国・台湾の激変する歴史を、旅行という観点から見直す。写真や図版も多数掲載。

産経新聞 2019/08/04、日本経済新聞 2019/08/17

2019:6./ 331p
978-4-7942-2402-6
本体 ¥2,400+税



心。〜人生を意のままにする力〜

稲盛 和夫 著
サンマーク出版

人生とは心が紡ぎ出すものであり、目の前に起こってくるあらゆる出来事はすべて、自らの心が呼び寄せたものである。当代随一の経営者・稲盛和夫が、よりよく生きるための心のありようを綴る。「生き方」の続編。

産経新聞 2019/08/10

2019:6./ 205p
978-4-7631-3243-7
本体 ¥1,700+税



虎とバット〜阪神タイガースの社会人類学〜

ウィリアム・W.ケリー、高崎 拓哉 著
ダイヤモンド社

なぜ我々は“ダメ虎”でも愛してしまうのか？ イェール大学教授による本格的日本プロ野球論。社会人類学的視点から、阪神タイガースと大阪の特異な“絆”を解説する。

産経新聞 2019/08/11

2019:6./ 331p
978-4-478-10766-9
本体 ¥1,800+税





ワンダーブック～図解奇想小説創作全書～

ジェフ・ヴァンダミア、朝賀 雅子 著
フィルムアート社

プロットと構成の作り方から、キャラクター造形に必要なもの、世界構築の方法、視点の定め方まで。豊富な図表・イラストとともに小説の書き方をヴィジュアルに解説。ニール・ゲイマンらの実践的アドバイスも収録。

2019:5./ 19p,357p
978-4-8459-1804-1

本体 ¥3,600+税



産経新聞 2019/08/11



むらさきのスカートの女

今村 夏子 著
朝日新聞出版

近所に住む「むらさきのスカートの女」が気になる<わたし>。自分と同じ職場で働くよう彼女を誘導し、その生活を観察し続け…。狂気と紙一重の滑稽さ。<わたし>が望むものは? 『小説トリッパー』掲載を単行本化。

2019:6./ 158p

978-4-02-251612-1

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2019/08/11、朝日新聞 2019/08/31、日本経済新聞 2019/08/31



一生食べたいカツ代流レシピ(文春新書 1224)

小林 カツ代、本田 明子 著
文藝春秋

80 歳になっても美味しく食べられるレシピとは何かを考え続けていた、家庭料理のカリスマ・小林カツ代。その遺志を受け継いだ一番弟子が、どの年代にも愛される「簡単・美味しい・経済的」なカツ代流レシピを紹介する。

2019:7./ 191p

978-4-16-661224-6

本体 ¥1,000+税



産経新聞 2019/08/17



おじいさんになったね(だいわ文庫 392-1D)

南 伸坊 著
大和書房

団塊の世代は老人である。実感はないけど、そういうことなら私は、ゴキゲンなおじいさんになりたい。あったかほんわかの名手が、加齢なる日々をつづった 33 編。

2019:8./ 195p

978-4-479-30764-8

本体 ¥680+税



産経新聞 2019/08/17



希望の糸

東野 圭吾 著
講談社

死んだ人のことなんか知らない。あたしは、誰かの代わりに生まれてきたんじゃない。ある殺人事件で絡み合う、容疑者そして若き刑事の苦悩。書き下ろし長編ミステリー。

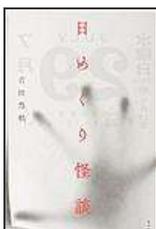
2019:7./ 345p

978-4-06-514894-5

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2019/08/18



日めくり怪談

吉田 悠軌 著
集英社

祖父が死の前夜にかぶったお面、とあるキャンプ場で繰り返される惨劇、子どもの頃に現れたずぶ濡れの母子の正体、大人になる前に死ぬと予言された少女を救った秘策…。1 話 5 分で読める短い怪談、全 62 話を収録する。

2019:7./ 221p

978-4-08-788022-9

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2019/08/18



夏の騎士

百田 尚樹 著
新潮社

あれから 31 年。ぼくが今もどうにか人生の荒波を渡っていけるのは、あの頃手に入れた勇気のおかげかもしれない。昭和最後の夏に経験した、謎をめぐる冒険、友情、そして恋を描いた、百田版「スタンド・バイ・ミー」。

産経新聞 2019/08/18

2019:7./ 250p
978-4-10-336414-6
本体 ¥1,400+税



僕らはそれに抵抗できない～「依存症ビジネス」のつくられかた～

アダム・オルター、上原 裕美子 著
ダイヤモンド社

スマホ、フェイスブック、インスタ、ネットフリックス、ゲーム、メール…。新時代にはびこる依存症から逃れる術はあるのか？ のめりこませる手口とその仕組みの全貌をあげばき、対処法を読み解く。

産経新聞 2019/08/18

2019:7./ 14p,402p
978-4-478-06730-7
本体 ¥1,800+税



韓国「反日主義」の起源

松本 厚治 著
草思社

日本統治下で誕生した韓国が戦後取り得る道は、日本を全否定する以外なかった。膨大な資料をもとに「反日」の起源とその構造を明らかにし、それが「反日主義」という強固な国家イデオロギーへと発展していくさまを描き出す。

産経新聞 2019/08/18

2019:3./ 653p
978-4-7942-2387-6
本体 ¥4,200+税



令和をダメにする 18 人の亡国政治家～永田町取材 30 年の記者が断罪!～

乾 正人 著
ビジネス社

平成ニッポンを敗北させた「A 級戦犯」はズバリ小沢一郎、河野洋平、竹下登。だが令和になっても「国賊」議員は後を絶たない。巨悪中国をつくった“親中派”、野党の有象無象、安倍一強の功罪など、黒すぎる政界を一刀両断。

産経新聞 2019/08/18

2019:7./ 237p
978-4-8284-2113-1
本体 ¥1,400+税



日本の色彩百科～明治・大正・昭和・平成～

城 一夫 著
青幻舎

明治、大正、昭和、平成の各時代を色彩をキーワードとして概観。景観、ファッション、インテリア、プロダクト、グラフィック、アートなどの各分野の色彩を取り上げる。明治以降の流行カラーサンプルも掲載。

産経新聞 2019/08/18

2019:6./ 224p
978-4-86152-734-0
本体 ¥2,800+税



幻島図鑑～不思議な島の物語～

清水 浩史 著
河出書房新社

幻のような美しき小さな島、声なき声の島、消え入りそうな島、消えた島…。日本全国 7000 の島々から、17 の美しき幻島を厳選して紹介。幻島度、面積、アクセスなどをカラー写真と共に掲載したガイド編と紀行編の 2 部構成。

産経新聞 2019/08/18、朝日新聞 2019/08/31

2019:7./ 287p
978-4-309-29035-5
本体 ¥1,600+税





かいつゾロリうちゅう大さくせん(かいつゾロリシリーズ 65)

原 ゆたか 著
ポプラ社

おならエネルギーで宇宙へ飛び立つ! 巨大ロボットに乗り込んで宇宙へ出発した、ゾロリとイシシ、ノシシの3人は、探していたマニイ号を見つけるが…。切り取れる新聞、見返しに貼って使える新聞ポケットつき。

2019:6./ 101p
978-4-591-16325-2
本体 ¥900+税



産経新聞 2019/08/24



いかれころ

三国 美千子 著
新潮社

わがままな母を甘やかす本家の祖父母、婿養子の父、精神を病んだ穏やかな叔母、因襲的な親戚…。大阪南部のある一族に持ちあがった縁談を軸に、それらの人々の姿を河内弁で幼女の視点から描き出す。『新潮』掲載を単行本化。

2019:6./ 152p
978-4-10-352661-2
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2019/08/25



ケーキの切れない非行少年たち(新潮新書 820)

宮口 幸治 著
新潮社

認知力が弱く、「ケーキを等分に切る」ことすらできない。人口の10%いるとされる「境界知能」の人々に焦点を当て、彼らを学校・社会生活で困らないように導く超実践的メソッドを公開する。

2019:7./ 182p
978-4-10-610820-4
本体 ¥720+税



産経新聞 2019/08/25



「歌だけが残ると、あなたは言った〜わが父、阿久悠〜

深田 太郎 著
河出書房新社

時代は変わる。人も生活も、歌も変わっていく。それでもどこかで、あなたの歌が歌われている。天才作詞家・阿久悠の素顔と、彼が教えてくれた人生の真実を、息子である著者が綴る。

2019:7./ 194p
978-4-309-02813-2
本体 ¥1,800+税



産経新聞 2019/08/25



暴力と不平等の人類史〜戦争・革命・崩壊・疫病〜

ウォルター・シャイデル、鬼澤 忍、塩原 通緒 著
東洋経済新報社

平等は破壊の後にやってくる。「第二次大戦後の日本」250万人戦死→トップ1%の富が9割下落、「西ローマ帝国の崩壊」支配層の消滅→搾取の終焉・生活向上…。石器時代から現代まで、世界各国の不平等の歴史を描き出す。

2019:6./
10p,582p,141p
978-4-492-31516-3
本体 ¥5,400+税



産経新聞 2019/08/25



沖縄県民も知らない沖縄の偉人〜日米の懸け橋となった男たち〜

恵 隆之介 著
育鵬社

貧困と陋習に苦しむ沖縄を救うために、男たちはアメリカに渡った。「沖縄移民の父」當山久三、アジア太平洋地域の交流に尽くした移民二世の米経済学者トーマス・H・イゲら3人の沖縄出身者の生涯を記す。

2019:8./ 237p
978-4-594-08264-2
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2019/08/25



タコやん(日本傑作絵本シリーズ)

富安 陽子、南 伸坊 著
福音館書店

ある日、海の中からノタコラペタコラやってきた、タコのタコやん。タコと遊ぶのはいやだなあ。しょうちゃんは、心の中で思いました。ところが、タコやんはゲームでも、サッカーでも、8本の足を使って変幻自在に大活躍!

2019:6./ 30p
978-4-8340-8465-8
本体 ¥1,300+税



産経新聞 2019/08/25



現代美術茶話

海上 雅臣 著
藤原書店

棟方志功を世界的注目へと導き、書家・井上有一の評価に先鞭をつけた「行動的美術評論家」が、30年以上にわたって書き綴ってきた、井上有一、同時代美術、美術市場、そして現代社会をめぐる随想。『六月の風』連載を書籍化。

2019:5./ 470p 図版
16p
978-4-86578-224-0

本体 ¥3,000+税



産経新聞 2019/08/25



昆虫食と文明～昆虫の新たな役割を考える～

デイビッド・ウォルトナー=テープズ、片岡 夏実 著
築地書館

バッタ、ハチ、カイコ...昆虫を食べることは、人類の将来をよりよい方向に変えうるか? 人類の昆虫利用の歴史から、昆虫を食料とすることによる環境負荷の軽減、人の食料や飼料としての昆虫生産の現状と持続可能性を探求する。

2019:6./ 366p
978-4-8067-1585-6
本体 ¥2,700+税



産経新聞 2019/08/25、日本経済新聞 2019/08/31



会計と犯罪～郵便不正から日産ゴーン事件まで～

細野 祐二 著
岩波書店

粉飾決算事件における共謀容疑で、有罪確定した著者。同じ頃、郵便不正事件で無罪となった厚労省の村木元局長。2人の判決の差は何か。未踏の犯罪会計学を切り開いた著者が、日産ゴーン事件をも鋭く抉り、特捜検察の闇を問う。

2019:5./ 18p,279p,5p
978-4-00-061341-5
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/08/03



年表 昭和・平成史～1926-2019～ 新版(岩波ブックレット No.1005)

森 武麿 編
岩波書店

アジア・太平洋戦争、高度成長、バブル崩壊、安保法制成立...。「昭和」「平成」合わせて94年間の政治・経済・社会の主要な出来事を、1年1頁にまとめたコンパクトな年表。内閣一覧や世相を映す写真も収載する。

2019:7./ 103p
978-4-00-271005-1
本体 ¥680+税



朝日新聞 2019/08/03



化物?燭

木内 昇 著
朝日新聞出版

当代一の影絵師に大店から持ち込まれた奇妙な依頼。見えるはずのないものが見える乙次の、物の怪との対峙とその?末...。江戸の市井を舞台に描く、切なくはかない7つの奇譚。『小説現代』『小説トリッパー』掲載を単行本化。

2019:7./ 316p
978-4-02-251613-8
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/08/03



報道事変～なぜこの国では自由に質問できなくなったか～(朝日新書 722)

南 彰 著
朝日新聞出版

露骨な圧力、質問妨害、時間削減-政治取材の現場で何が起きているのか。政治
部記者として歴代官房長官を 500 回以上取材した著者が、「もう自由に質問できな
い」この国の今に警鐘を鳴らす。

2019:6./ 209p
978-4-02-295025-3

本体 ¥790+税



朝日新聞 2019/08/03



同調圧力(角川新書 K-267)

望月 衣塑子、前川 喜平、マーティン・ファクラー 著
KADOKAWA

自由なはずの現代社会で、発言がはばかれるのはなぜか。重苦しい空気から軽
やかに飛び出した著者らが、記者・組織と教育現場・メディアの同調圧力について
論じる。2019 年 6 月公開映画「新聞記者」の劇中座談会も収録。

2019:6./ 249p

978-4-04-082302-7

本体 ¥840+税



朝日新聞 2019/08/03



腐敗性物質～田村隆一自撰詩集～(講談社文芸文庫)

田村 隆一 著
講談社

朝日新聞 2019/08/03

1997:4./ 266p

978-4-06-197563-7

本体 ¥1,100+税



優しき悪霊～溝猫長屋祠之怪～(講談社文庫 わ 26-13)

輪渡 颯介 著
講談社

溝猫長屋の祠をお参りしてから幽霊が分かるようになった忠次たち。丸亀屋のお千
加の縁談相手が次々に死ぬという噂が立ち、忠次たちは丸亀屋の元の店に忍び込
んでかくれんぼを始める。そこで彼らが「見た」ものとは...!?

2019:7./ 275p

978-4-06-515507-3

本体 ¥640+税



朝日新聞 2019/08/03



限界のタワーマンション(集英社新書 0979)

榎 淳司 著
集英社

住環境、健康、子どもの育ちへの影響など、あらゆる点から限界にきているタワーマ
ンション。多角的な視点から、住まいとしてのタワーマンションを徹底検証し、その不
都合な真実を明らかにする。

2019:6./ 202p

978-4-08-721079-8

本体 ¥800+税



朝日新聞 2019/08/03



SPY×FAMILY<1>(ジャンプコミックス)

遠藤 達哉 著
集英社

名門校潜入のために「家族」を作れと命じられた凄腕スパイの〈黄昏〉。だが、彼が
出会った「娘」は心を読む超能力者!「妻」は暗殺者で!?互いに正体を隠した仮初め
家族が、受験と世界の危機に立ち向かう痛快ホームコメディ!!

2019:7./ 212p

978-4-08-882011-8

本体 ¥480+税



朝日新聞 2019/08/03



暴君～新左翼・松崎明に支配された JR 秘史～

牧久 著
小学館

機関士に憧れた少年時代から、「革マル派」最高幹部、JR 東日本「影の社長」へ…。国鉄解体前後から 30 余年に及んで“封印”されてきた、松崎明の生涯を軸に展開する、複雑怪奇な平成 JR の裏面史。

朝日新聞 2019/08/03

2019:4./ 476p
978-4-09-388665-9
本体 ¥2,000+税



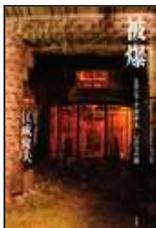
昭和・平成現代史年表～1923 年?2019 年～ 増補完全版

小林 英夫 編
小学館

大正 12 年 9 月から平成 31 年 4 月までの主要事項を収録した現代史年表。政治・経済から社会・文化、世相まで、昭和・平成の「あの時」「あの事件」が一目でわかる。事項や人物が年月日から引ける索引付き。

朝日新聞 2019/08/03

2019:7./ 223p
978-4-09-626329-7
本体 ¥1,800+税



被爆～ヒロシマ・ナガサキいのちの証～

江成 常夫 著
小学館

「戦争の昭和」を日本人に問い続けてきた写真家・江成常夫が、10 年以上にわたって撮影してきた被爆者の遺品と遺構を収録。原爆悪の実相と、いのちの尊さを未来へ伝える写真集。

朝日新聞 2019/08/03

2019:6./ 175p
978-4-09-682290-6
本体 ¥4,600+税



浮雲 改版(新潮文庫)

二葉亭 四迷 著
新潮社

朝日新聞 2019/08/03

1997:4./ 269p
978-4-10-101403-6
本体 ¥430+税



じゃじゃ馬にさせといて

松田 青子 著
新潮社

偏愛するドラマ、セレブの炎上事件が象徴するアメリカの今、ウィメンズ・マーチに参加して思うこと…。時代を鮮やかに更新する作家が、数年分の足跡を綴る。『ELLE JAPON』連載を大幅に加筆修正。

朝日新聞 2019/08/03

2019:6./ 167p
978-4-10-350012-4
本体 ¥1,500+税



湖畔の愛

町田 康 著
新潮社

龍神が棲むという湖のほとりに、今日も一面、霧が立ちこめる。創業 100 年を迎えた九界湖ホテルは、笑いと愛のニルバーナ! 天変地異を呼ぶ笑劇恋愛小説。全 3 編を収録。『新潮』掲載を単行本化。

朝日新聞 2019/08/03

2018:3./ 252p
978-4-10-421503-4
本体 ¥1,500+税





ハーバードの日本人論(中公新書ラクレ 658)

佐藤 智恵 著
中央公論新社

なぜ細部にこだわるのか。なぜものづくりと清掃を尊ぶのか。なぜ周りの目を気にするの...。世界最高の学び舎・ハーバード大学の教授 10 人のインタビューを通して、日本人も気づけなかった日本の魅力を再発見する。

朝日新聞 2019/08/03

2019:6./ 294p
978-4-12-150658-0
本体 ¥880+税



会津執権の栄誉(文春文庫 さ74-1)

佐藤 巖太郎 著
文藝春秋

相次ぐ当主の死、跡目争いによる家中の軋轢、そして奥羽の覇権を目指す伊達政宗による侵略。400年の長きにわたり会津を治めた名家、芦名家の存亡を熱く、克明に描いた連作短編集。

朝日新聞 2019/08/03

2019:7./ 276p
978-4-16-791310-6
本体 ¥650+税



戦国十二刻 終わりのとき(光文社文庫 光文社時代小説文庫 き25-1)

木下 昌輝 著
光文社

その死まで、残り 24 時間。豊臣秀頼、今川義元、山本勘助、徳川家康ら戦国の乱世に生きた男たちの死に至るまでの一日を、濃密に描く全 6 編を収録する。斬新な歴史解釈と鮮やかなどんでん返しに彩られた作品集。

朝日新聞 2019/08/03

2019:7./ 270p
978-4-334-77884-2
本体 ¥600+税



三国志演義事典

渡邊 義浩、仙石 知子 著
大修館書店

正史との違いがひと目でわかる、三国志演義事典。三国志演義の形成とその展開、登場する人物を解説するとともに、名場面四十選、戦いの諸相、代表的な謀略、人物の表象、資料集などを収録する。「三国志事典」の姉妹編。

朝日新聞 2019/08/03

2019:7./ 330p,41p
978-4-469-03215-4
本体 ¥3,600+税



動物園は進化する～ゾウの飼育係が考えたこと～(ちくまプリマー新書 327)

川口 幸男、アラン・ルーククロフト 著
筑摩書房

現存する 3 種のゾウの特徴や生態、使役動物として扱われてきたアジアゾウや動物園における飼育の歴史、ゾウも人も幸福な新しい飼育法などについて、永年上野動物園でアジアゾウの飼育に関わった著者らが体験をもとに紹介する。

朝日新聞 2019/08/03

2019:6./ 199p
978-4-480-68352-6
本体 ¥840+税



2030年 アパレルの未来～日本企業が半分になる日～

福田 稔 著
東洋経済新報社

2030年のアパレル業界はどうなっているのか？生き残る企業、消える仕事は？日本人は何をすべきか？売場、流通、工場、商社...。業界トップコンサルタントが、アパレルの動向と業界の課題、処方箋を徹底解説する。

朝日新聞 2019/08/03

2019:6./ 288p
978-4-492-76248-6
本体 ¥1,600+税





待ち遠しい

柴崎 友香 著
毎日新聞出版

住み心地のいい離れの一軒家で一人暮らしを続ける 39 歳の春子。母屋に越してきた 63 歳のゆかりと、裏手の家に暮らす新婚 25 歳の沙希と出会い、「ご近所付き合い」が始まるが…。『毎日新聞』日曜くらぶ連載を単行本化。

2019:6./ 336p
978-4-620-10841-4
本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2019/08/03



ビールは楽しい!〜絵で読むビール教本〜

ギレック・オバー、ヤニス・ヴァルツィコス、河 清美 著
パイインターナショナル

国内に約 1100 軒ものビール醸造所があるフランス発、絵で読むビールの教科書。ビールの定義や製造工程などの基礎知識から、隠れたビール大国フランスのビール事情等を紹介する。ビールがもっと楽しくなる情報が満載。

2019:7./ 191p
978-4-7562-5036-0
本体 ¥2,300+税

朝日新聞 2019/08/03



MELOPHOBIA

安川 奈緒 著
思潮社

ここは都会で近所のおばあさんが おにぎりを道に叩きつけて怒っていた このあたりで犬の鳴き声は人間の声とよく似ていて間違ふ 田舎でのびのびと育ったつもりはないけれど 第 1 詩集。

2006:11./ 96p
978-4-7837-2182-6
本体 ¥2,000+税

朝日新聞 2019/08/03



黄金詩篇〜詩集〜(思潮ライブラリー)

吉増 剛造 著
思潮社

ぼくは詩を書く 第一行目を書く 彫刻刀が、朝狂って、立ち上がる それがぼくの正義だ!(「朝狂って」より)詩と革命の時代、そのエネルギーの頂点をなす「黄金の書」ふたたび。

2008:7./ 225p
978-4-7837-3061-3
本体 ¥3,000+税

朝日新聞 2019/08/03



呪いの言葉の解きかた

上西 充子 著
晶文社

「文句を言うな」「君だって一員なんだから」「嫌ならやめちゃえば?」「母親なんだからしっかり」…。政権の欺瞞から日常のハラスメントまで、隠された「呪いの言葉」を取り上げ、呪縛の解きかたを紹介する。

2019:5./ 281p
978-4-7949-7088-6
本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2019/08/03



ママは身長 100cm(ハフポストブックス)

伊是名 夏子 著
ディスカヴァー・トゥエンティワン

生まれつき骨が弱い障害があり、身長 100 センチ、体重 20 キロ、車いすで生活している著者が、自身の妊娠・流産・出産・子育てから、小さいころのこと、家族、障害、恋愛、夫婦別姓、性教育までを綴る。

2019:5./ 245p
978-4-7993-2460-8
本体 ¥1,400+税

朝日新聞 2019/08/03



お砂糖とスパイスと爆発的な何か～不真面目な批評家によるフェミニスト批評入門～

北村 紗衣 著
書肆侃侃房

フェミニストの視点で作品を深く読み解けば、映画も演劇もこんなにおもしろい。「フェミニスト批評」を用いた、映画・演劇等の批評 25 本を収録する。『messy』『wezzy』連載を単行本化。

朝日新聞 2019/08/03

2019:6./ 239p
978-4-86385-365-2

本体 ¥1,500+税



私の現代

山沢 栄子 著
赤々舎

日本における女性写真家の草分けとして活躍した山沢栄子の生誕 120 年を記念した回顧展の関連書籍。1970?80 年代に手がけたカラーとモノクロによる抽象写真シリーズ<WHAT I AM DOING>などを収録。

朝日新聞 2019/08/03

2019:5./ 222p

978-4-86541-096-9

本体 ¥3,500+税



世界魚類神話

篠田 知和基 著
八坂書房

魚類をはじめ、貝、クジラ、イルカ、ワニ、亀などの水生生物から、空想の河童、竜、人魚、蛇女神まで、原始の記憶を宿す生きものにつわる神話、民俗、昔話、小説、詩などを渉猟し読み解く。図版も 100 点余収録。

朝日新聞 2019/08/03

2019:6./ 213p

978-4-89694-262-0

本体 ¥2,800+税



黄金夜界

橋本 治 著
中央公論新社

一夜にして許婚者と金と家を失い、地べたを這う<金の悪鬼>となった東大生・貫一。壮絶な彷徨はやがて、裏切りの末路と交差する…。尾崎紅葉の「金色夜叉」を現代に蘇らせた橋本治の遺作。『読売新聞』連載を単行本化。

朝日新聞 2019/08/03、東京・中日新聞 2019/08/11、読売新聞 2019/08/18、毎日新聞 2019/08/25

2019:7./ 371p

978-4-12-005210-1

本体 ¥1,700+税



明治維新の敗者たち～小栗上野介をめぐる記憶と歴史～

マイケル・ワート、野口 良平 著
みすず書房

「勝てば官軍、負ければ賊軍」なのか？ 小栗上野介忠順を敗者の代表として選び、敗者への公正さを要求した人びとが明治政府史観にいかにか抗ってきたかを膨大な史資料から跡づけ、歴史の生成を描く。

朝日新聞 2019/08/03、読売新聞 2019/08/18

2019:6./ 264p,32p

978-4-622-08811-0

本体 ¥3,800+税





林彪事件と習近平～中国の権力闘争、その深層～(筑摩選書 0175)

古谷 浩一 著
筑摩書房

中国共産党ナンバー2 による毛沢東暗殺計画。発覚後、亡命を図るが搭乗機は墜落する。いまだ謎を残す林彪事件を追跡し、習近平国家主席による強権政治の背景を浮かび上がらせる。『朝日新聞』連載に最新の取材成果を追加。

2019:5./ 252p
978-4-480-01682-9
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/08/03、日本経済新聞 2019/08/10



中国が世界を動かした「1968」

楊 海英 編
梅崎 透 著
藤原書店

ベトナム反戦運動、フランス五月革命、プラハの春、日本の学生運動…。世界の1968年に影響を与えた文化大革命。「世界史における1968年」と文革を考察する。2018年7月開催の国際シンポジウムをもとに書籍化。

2019:4./ 319p
978-4-86578-218-9
本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2019/08/03、毎日新聞 2019/08/04



日米地位協定～在日米軍と「同盟」の70年～(中公新書 2543)

山本 章子 著
中央公論新社

在日米軍の基地使用、行動範囲、米軍関係者の権利などを保証した日米地位協定。「過剰な優遇」の根源とは。実際の運用が非公開の「合意議事録」に基づいてきた事実など、日本が置かれている「地位」の実態を描く。

2019:5./ 7p,256p
978-4-12-102543-2
本体 ¥840+税



朝日新聞 2019/08/03、毎日新聞 2019/08/11



皮膚はすごい～生き物たちの驚くべき進化～(岩波科学ライブラリー 285)

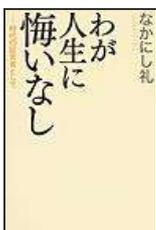
傳田 光洋 著
岩波書店

さまざまな生き物たちの皮膚を取りあげ、彼らが生きる環境に応じて、多様な皮膚機能を持っていることを紹介。さらに人間の皮膚が極めて特異であることを示し、それが命につながっていることを論じる。

2019:6./ 8p,125p,5p
978-4-00-029685-4
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2019/08/10



わが人生に悔いなし～時代の証言者として～

なかにし 礼 著
河出書房新社

「北酒場」(細川たかし)をはじめ数々の名曲を作詞し、小説「長崎ぶらぶら節」で直木賞に輝いたなかにし礼。言葉を自在に紡ぎ、人々に感動を与えてきた彼が、「これまで三度、死の淵に立った」という波乱の人生を綴る。

2019:6./ 201p
978-4-309-02805-7
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2019/08/10



ヒップホップ・ドリーム(河出文庫 か 35-1)

漢 a.k.a.GAMI 著
河出書房新社

マイク 1本で頂点を競うヒップホップの精神とそれを裏切る現場の凶暴で陰惨なる現実。喧嘩や騙し合いが渦巻く世界でラッパーは何を夢見るのか。日本語ラップのカリスマによる自伝的「ヒップホップ哲学」。大幅増補して文庫化。

2019:7./ 300p
978-4-309-41695-3
本体 ¥760+税



朝日新聞 2019/08/10



須賀敦子の本棚<9> 地球は破壊されはしない

ダヴィデ・マリア・トゥロルド 著
河出書房新社

須賀敦子の没後 20 年を記念した海外文学コレクション。9 は、若き日の須賀が心をこめて訳した、レジスタンスの闘士ダヴィデ・マリア・トゥロルドの戯曲「地球は破壊されはしない」を収録。池澤夏樹のエッセイも掲載。

2019:6./ 190p
978-4-309-61999-6
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2019/08/10



柳宗悦~美の菩薩~(ちくま学芸文庫 ア9-9)

阿満 利磨 著
筑摩書房

柳宗悦の「美の宗教」とはどのようなものであるのか。美に置きかえることができる宗教とはなにか。柳宗悦は宗教をどのようなものと考えていたのか。この稀有な思想家の核心に迫った著者初期の代表作を、増補して文庫化。

2019:6./ 230p
978-4-480-09922-8
本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2019/08/10



鳥と人間の文化誌(関西学院大学研究叢書 第205編)

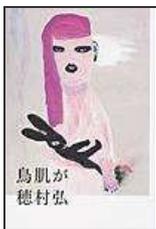
奥野 卓司 著
筑摩書房

「多くの日本人が鳥を好んでいる」というのは本当か? 文化人類学を専攻してきた著者が、日本人の生き物観としての「花鳥風月」を出発点に、犬や猫よりもはるかに古い、鳥と人間の意外で多彩な関係を重層的に描きだす。

2019:4./ 238p
978-4-480-82380-9
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2019/08/10



鳥肌が(PHP 文芸文庫 ほ2-1)

穂村 弘 著
PHP研究所

日常の中でふと覚える違和感、現実の中に時折そつと顔を覗かせる「ズレ」、自分が信用できなくなる瞬間…。恐怖と笑いが紙一重で同居するエッセイ集。

2019:7./ 261p
978-4-569-76943-1
本体 ¥700+税



朝日新聞 2019/08/10



人権の世界地図

Andrew Fagan、長島 隆、長島 隆、江崎 一朗、石田 安実 著
丸善出版

色付けした地図とグラフ、150 か国以上のプロフィールとデータによって、人権侵害の事例と人権とは何かについて解説。国家間の人権の不平等と、その世界的な人権侵害の結果を明らかにし、基本的な問題を考察する。

2019:6./ 130p
978-4-621-30364-1
本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2019/08/10



クジラのおなかからプラスチック

保坂 直紀 著
旬報社

このままでは 2050 年に海の魚の重量を上回るともいわれているプラスチックごみ。その実態は? 人体への影響は? 日本はどう動いているのか? 海洋プラスチックごみ問題の最前線を伝える。

2018:12./ 156p
978-4-8451-1566-2
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2019/08/10



転生する文明

服部 英二 著
藤原書店

文明は、時空を変えて生き続ける！ ユネスコ「世界遺産」の仕掛け人であり、「文明間の対話」を発信した著者が、世界 100 か国を踏破するなかで出会った数々の文明の移行と転生の姿を描く。

2019:5./ 326p
978-4-86578-225-7
本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2019/08/10



キュー

上田 岳弘 著
新潮社

平凡な医師の「僕」は「等国」なる組織に拉致された。対立する「錐国」の中心には、長年寝たきりの祖父がいる。一方、はるか未来に目を覚ました自称天才の男は...。『新潮』『Yahoo!JAPAN』連載を加筆し書籍化。

2019:5./ 395p
978-4-10-336735-2
本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2019/08/10、読売新聞 2019/08/25



七つの殺人に関する簡潔な記録

マーロン・ジェームズ、旦 敬介 著
早川書房

1976年12月3日のボブ・マーリー暗殺未遂事件。襲撃犯、裏で操る政治家、CIA 工作員、アメリカ人記者、事件の目撃者、さらには亡霊までが真実を語りだし...。現実の事件をもとに、語られざる歴史をつむいだ長篇小説。

2019:6./ 717p
978-4-15-209867-2
本体 ¥6,000+税



朝日新聞 2019/08/10、日本経済新聞 2019/08/17



ナガサキ〜核戦争後の人生〜

スーザン・サザード、宇治川 康江 著
みすず書房

原子雲真下のあの日から、苦難とともに生きのびた戦後まで、当時 10 代の若者達だった長崎被爆者の人生を、聞き書きや医師らの証言などをもとに描く。被爆者の側に徹底的に寄り添った、アメリカ人女性によるノンフィクション。

2019:7./ 449p,7p
978-4-622-08818-9
本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2019/08/10、日本経済新聞 2019/08/17



将軍の子

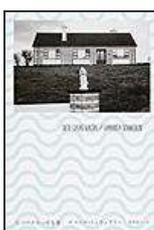
佐藤 巖太郎 著
文藝春秋

生まれた直後に養子に出された徳川秀忠の庶子、保科正之。その生い立ちの陰に、彼を思いやる多くの人々がいた。孤独と不遇を力に変えた初代会津藩主の来歴を描く連作短編集。『オール読物』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

2019:7./ 252p
978-4-16-391060-4
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2019/08/11



七つのからっぽな家

サマンタ・シュウェブリン、見田 悠子 著
河出書房新社

認知症の妻と夫、全裸で戯れる祖父母と孫、秘かな共感を抱く少女と男...。家庭や日常に潜む狂気をえぐりだす「家」をめぐる短篇集。ファン・ルフォ賞受賞作「不運な男」を含む全 7 篇を収録。

2019:5./ 182p
978-4-309-20770-4
本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2019/08/11



妙麟

赤神 諒 著
光文社

戦国末期の天正 14 年 12 月、九州最大の太友家が、今、滅びの時を迎えている。太友宗麟の重臣吉岡家の鶴崎城では、尼僧の女武将が島津軍相手に籠城している…。恋に戦に生きた女武将の熱き魂に迫る戦国ロマン小説。

朝日新聞 2019/08/11、産経新聞 2019/08/25

2019:7./ 335p
978-4-334-91296-3
本体 ¥1,600+税



八本目の槍

今村 翔吾 著
新潮社

秀吉の配下となった 8 人の若者たち。武勲を上げた 7 人は「賤ヶ岳の七本槍」とよばれるように。己の望みに正直な男たちは、迷いながらも別々の道を進む。残りのひとり、石田三成は時代に抗い…。『小説新潮』掲載を単行本化。

朝日新聞 2019/08/11、日本経済新聞 2019/08/17

2019:7./ 394p
978-4-10-352711-4
本体 ¥1,800+税



方法序説(岩波文庫 青 613-1)

デカルト、谷川 多佳子 著
岩波書店

すべての人が真理を見いだすための方法を求めて、思索を重ねたデカルト(1596-1650)。「われ思う、ゆえにわれあり」は、その彼がいっさいの外的権威を否定して達した、思想の独立宣言である。

朝日新聞 2019/08/17

1997:7./ 137p
978-4-00-336131-3
本体 ¥520+税



地獄めぐり(講談社現代新書 2527)

加須屋 誠 著
講談社

なぜ私たちは「地獄」に惹きつけられ、魅了されるのか。古代から近代までの、「地獄」を描いた作品を考察し、その理由を具体的かつ実証的に解き明かす。豊富な図版、地獄から生還した人たちの“証言”も収録。

朝日新聞 2019/08/17

2019:6./ 230p
978-4-06-516147-0
本体 ¥1,000+税



山椒大夫・高瀬舟 改版(新潮文庫)

森 鷗外 著
新潮社

朝日新聞 2019/08/17

1985:1./ 280p
978-4-10-102005-1
本体 ¥490+税



平凡(新潮文庫 か-38-14)

角田 光代 著
新潮社

もし、あの人と結婚していなければ。別れていなければ。仕事を続けていれば。どんなふうにも暮らしたって、絶対、選ばなかった方のことを想像してしまう…。6 人の「もし」を描いた小説集。

朝日新聞 2019/08/17

2019:8./ 261p
978-4-10-105834-4
本体 ¥520+税





新宿二丁目(新潮新書 818)

伏見 憲明 著
新潮社

ゲイバー、女装系、レズビアン系バー…。世界最大の多様性をかかえる新宿二丁目は、なぜ、どのようにしてそうなったのか。この街でゲイバーを経営する著者が、関係者への丹念な取材を積み重ね、知られざる歴史をひも解く。

朝日新聞 2019/08/17

2019:6./ 270p
978-4-10-610818-1
本体 ¥820+税



科学技術の現代史～システム、リスク、イノベーション～(中公新書 2547)

佐藤 靖 著
中央公論新社

第2次世界大戦後、科学技術の力は増大する。インターネットが生まれ、遺伝子操作が可能になり、原子力や人工衛星の利用が広がる。一方でリスクは巨大化、複雑化した。科学技術の“進化”の歴史と未来への展望を描く。

朝日新聞 2019/08/17

2019:6./ 6p,224p
978-4-12-102547-0
本体 ¥820+税



役に立つ古典(教養・文化シリーズ NHK 出版学びのきほん)

安田 登 著
NHK出版

ふだんの生活にはまったく役に立たない古典は、大人になり人生の深い問題にぶち当たったときに突然、その真価を発揮する。「古事記」「論語」「おくのほそ道」「中庸」を取り上げ、能楽師がその要点を解説する。

朝日新聞 2019/08/17

2019:6./ 115p
978-4-14-407245-1
本体 ¥670+税



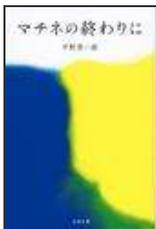
三つ編み

レティシア・コロンバニ、齋藤 可津子 著
早川書房

インド、イタリア、カナダ。3大陸の3人の女性。かけ離れた境遇に生きる彼女たちに共通しているのは、女性に押しつけられる困難と差別のために立ち向かっていること…。逆境を生きる女性の連帯を描く物語。

朝日新聞 2019/08/17

2019:4./ 255p
978-4-15-209855-9
本体 ¥1,600+税



マチネの終わりに(文春文庫 ひ 19-2)

平野 啓一郎 著
文藝春秋

深く愛し合いながら一緒になることが許されなかった蒔野聡史と小峰洋子。2人はなぜ別れなければならなかったのか。そして、再び巡り逢えるのか。恋の仕方を忘れた大人に贈る恋愛小説。2019年11月公開映画の原作。

朝日新聞 2019/08/17

2019:6./ 468p
978-4-16-791290-1
本体 ¥850+税



リアルサイズ古生物図鑑～古生物のサイズが実感できる!～<中生代編>

土屋 健、群馬県立自然史博物館 著
技術評論社

ペットとして飼われている海棲の爬虫類アトポデントゥス・ユニクス、ツーリングの仲間に最適なガリミス・ブラスタス…。古生物をリアルなイラストで再現し、現代景色に配置した図鑑。三畳紀?白亜紀後期の古生物を収録。

朝日新聞 2019/08/17

2019:7./ 255p
978-4-297-10656-0
本体 ¥3,200+税





喪失学〜「ロス後」をどう生きるか?〜(光文社新書 1013)

坂口 幸弘 著
光文社

家族、友人、ペット、健康、時間、夢や希望、そして自分の命…。命ある限り生じる「喪失」といかに向き合っていくべきか。死生学や心理学の理論、当事者の声、グループケアの実践から、来るべき喪失に備える。ワークも収録。

2019:6./ 220p
978-4-334-04419-0

本体 ¥780+税



朝日新聞 2019/08/17



銀河で一番静かな革命

マヒトゥ・ザ・ピーポー 著
幻冬舎

決めるのはいつも自分じゃない誰か。孤独と鬱屈はいつも身近にあった。だから、こんな世界に未練なんてない。ずっとそう思っていたのに、あの「通達」ですべて変わってしまった…。今に迷うひとを救う物語。

2019:5./ 236p

978-4-344-03467-9

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2019/08/17



野党が政権に就くとき〜地方分権と民主主義〜

中野 晃一、中野 真紀子 著
人文書院

1980年代のフランスと1990年代の日本における地方分権改革の政治過程を取り上げ、野党、政党間競争、そして政権交代という政党政治の力学が、自由民主主義の深まりに寄与するメカニズムを解明する。

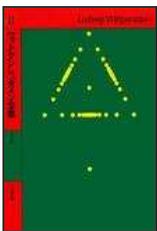
2019:7./ 251p

978-4-409-24125-7

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2019/08/17



ワイトゲンシュタイン全集<8> 哲学探究

ルードヴィヒ・ヴァイトゲンシュタイン 著
大修館書店

朝日新聞 2019/08/17

1988:6./ 479p

978-4-469-11018-0

本体 ¥4,500+税



ハンナ・アーレント〜屹立する思考の全貌〜(ちくま新書 1416)

森分 大輔 著
筑摩書房

何ものにも依らないユニークな「手摺なき思考」が注目されたアーレント。アーレントの主要な各作品を詳細に読み解き、全体主義が勃興して消えて行った激動の現代史を考察し続けた彼女の思索の最深部に迫る。

2019:6./ 285p

978-4-480-07230-6

本体 ¥880+税



朝日新聞 2019/08/17



歴史<上>(ちくま学芸文庫 ト15-1)

トゥキュディデス 著
筑摩書房

紀元前5世紀の古代地中海世界。スパルタ陣営との大激戦、ペロポネソス戦争で疲弊したアテナイでは屍が累々とし、人びとは疫病と困窮の中、運命の手に弄ばれるままになっていた…。トゥキュディデスが綴った大戦の長大な記録。

2013:10./ 503p

978-4-480-09563-3

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/08/17



歴史<下>(ちくま学芸文庫 ト15-2)

トウキユディデス 著
筑摩書房

古代地中海の国々が2つにわかれ、激闘を繰り広げたペロポネソス戦争。野望や恐怖が人びとの運命を翻弄し、諸国の力がせめぎあう中で、様々な政治戦略が生まれ模索されていった…。トウキユディデスが綴った大戦の長大な記録。

2013:10./ 414p
978-4-480-09564-0
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2019/08/17



アサイラム・ピース(ちくま文庫 か67-2)

アンナ・カヴァン 著
筑摩書房

城の地下牢に囚われた女、いつ終わるとも知れぬ裁判、精神療養所のテラスで人形劇じみた場面を演じる人々…。出口なしの閉塞感と絶対の孤独、謎と不条理に満ちた世界を先鋭的なスタイルで描いた短篇集。

2019:7./ 237p
978-4-480-43603-0
本体 ¥860+税



朝日新聞 2019/08/17



日本人の勝算～人口減少×高齢化×資本主義～

デービッド・アトキンソン 著
東洋経済新報社

「日本人の優秀さ」こそ、この国の宝だ。在日30年、日本を愛する伝説のアナリストが、日本経済に関する外国人エコノミストの論文等の分析結果から人口減少・高齢化の影響を検証し、日本人の未来を示す。

2019:1./ 323p
978-4-492-39646-9
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2019/08/17



世界を変えた60人の偉人たち～新しい時代を拓いたテクノロジー～

東京電機大学 編
東京電機大学出版局

ピタゴラス、ジェームズ・ワット、ライト兄弟、丹羽保次郎、ユーリイ・ガガーリン…。社会を大きく変えてきたテクノロジーの歩みとその影響、開発者の思いやメッセージなどをイラスト入りで紹介する。

2019:7./ 7p,141p
978-4-501-63190-1
本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2019/08/17



今宵は誰と～小説の中の女たち～

喜国 雅彦 著
双葉社

安部公房の「砂の女」、太宰治の「女生徒」、パタイユの「眼球譚」、S・キングの「ミザリー」などの名作に登場する個性的で魅力的な女性たちが、もし自分の夢に現れたら? 全く新しい文芸漫画。『小説推理』連載を単行本化。

2019:6./ 233p
978-4-575-31462-5
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/08/17



短編画廊～絵から生まれた17の物語～

ローレンス・ブロック 編
田口 俊樹 著
ハーバーコリンズ・ジャパン

すべての絵には物語がある。S・キング他文豪たちが米国の名画家エドワード・ホッパーの絵から物語を紡ぐ。MWA賞受賞L・ブロック作「オートマットの秋」など17編を収録。アンソニー賞アンソロジー部門最終候補作。

2019:6./ 478p
978-4-596-55209-9
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2019/08/17



戦国合戦<大敗>の歴史学

黒嶋 敏 編
山川出版社

合戦での<大敗>は、大名の滅亡に直結するのか。1540年代から80年代にかけての約半世紀における、国内で生じた9つの<大敗>事例を比較検討。<大敗>の影響を実証的な歴史学研究の方法によって確かめる。

2019:5./ 3p,291p
978-4-634-59115-8
本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2019/08/17



トク盛り「名字」井〜日本全国歩いた!調べた!〜

高信 幸男 著
柏書房

由来や歴史・地域性から、名字に秘められた意外な事実まで、膨大なデータと取材に裏打ちされた名字の雑学を紹介する。ほか、珍名さんエピソード、全国&都道府県名字ランキング、名字クイズなども収録。

2019:8./ 246p
978-4-7601-5089-2
本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2019/08/17



コケの国のふしぎ図鑑〜ミクロの写真で楽しむ〜

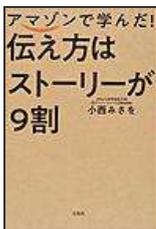
左木山 祝一 著
エクスマレッジ

ヒメトサカゴケ、イチョウウキゴケ、ネジクチゴケ、ホソバオキナゴケ…。54種類のコケを選び、拡大率の違いで、コケの生態を詳しく紹介。虫めがね、高倍率ルーペ、顕微鏡などの拡大パターンを掲載する。

2019:7./ 175p
978-4-7678-2644-8
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/08/17



アマゾンで学んだ!伝え方はストーリーが9割

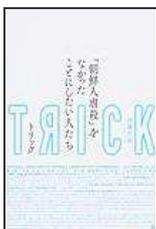
小西 みさを 著
宝島社

ストーリーを伝え続けたからこそ、アマゾンの今がある-。「ある場面」を具体的に語る、伝えたいポイントを絞る、時間を感じさせる話をする…。アマゾン CEO ジェフ・ベゾス直伝の「伝え方のルール」を公開する。

2019:7./ 255p
978-4-8002-9588-0
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/08/17



トリック〜「朝鮮人虐殺」をなかったことにしたい人たち〜

加藤 直樹 著
ころから

ネット上で拡散する朝鮮人虐殺否定論を検証し、どのように間違っているかを説明。また、ノンフィクション作家の工藤美代子・加藤康男夫妻が著した虐殺否定本を取り上げ、仕掛けられたトリックの数々を明らかにする。

2019:6./ 178p
978-4-907239-39-8
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/08/17



恐竜まみれ〜発掘現場は今日も命がけ〜

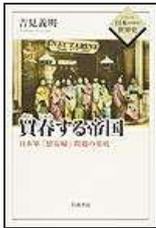
小林 快次 著
新潮社

誰もまだ見たことのない身体を持ち、考えてもみない生態で暮らしていた恐竜の痕跡は、まだまだ見つけれられるはず-。恐竜に取り憑かれた学者の超スリリングな発掘記。「デイノケイルス」「むかわ竜」の発掘秘話も満載。

2019:6./ 238p
978-4-10-352591-2
本体 ¥1,450+税



朝日新聞 2019/08/17、読売新聞 2019/08/18



買春する帝国～日本軍「慰安婦」問題の基底～(シリーズ日本の中の世界史)

吉見 義明 著
岩波書店

明治政府が違法としたはずの人身売買によって支えられていた近代日本の公娼制。それが、帝国の形成、拡大とともに変容し、最終的に日本軍「慰安婦」制度を生み出すに至るまでの歴史をたどる。

2019:6./ 13p,264p
978-4-00-028390-8

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2019/08/24



「宿命」を生きる若者たち～格差と幸福をつなぐもの～(岩波ブックレット No.1001)

土井 隆義 著
岩波書店

若者を取り巻く社会環境が悪化する一方で、若年層における幸福感や生活満足度は高まっている。この相反現象の秘密とは何か? 「宿命」をキーワードに、他世代との比較、時代による社会構造等の変化もふまえて解き明かす。

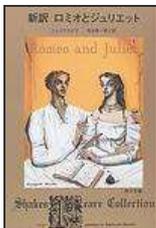
2019:6./ 132p

978-4-00-271001-3

本体 ¥620+税



朝日新聞 2019/08/24



新訳ロミオとジュリエット(角川文庫)

シェイクスピア 著
角川書店

朝日新聞 2019/08/24

2005:6./ 196p

978-4-04-210615-9

本体 ¥440+税



「他者」の起源～ノーベル賞作家のハーバード連続講演録～(集英社新書 0985)

トニ・モリスン、荒 このみ 著
集英社

アフリカ系アメリカ人初のノーベル文学賞作家が、「他者化」のからくりを考察。過去の白人作家たちが作品に隠蔽した人種差別を暴き、その欺瞞を突きながら、自著の仕掛けも明かす。2016年のハーバード大学での連続講演録。

2019:7./ 189p

978-4-08-721085-9

本体 ¥920+税



朝日新聞 2019/08/24



セレクション 戦争と文学<1> ヒロシマ・ナガサキ(集英社文庫 ヘリテージシリーズ S1-1)

原 民喜 著
集英社

新時代の戦争文学アンソロジー。1 は、被爆地の惨状を書きとどめた原民喜の名作「夏の花」をはじめ、田口ランディ「似島めぐり」など現代作家の視点も交え、原水爆の惨禍を描き出した作品を収録する。

2019:7./ 785p

978-4-08-761047-5

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2019/08/24



セレクション戦争と文学<2> アジア太平洋戦争(集英社文庫 ヘリテージシリーズ S1-2)

太宰 治 著
集英社

新時代の戦争文学アンソロジー。2 は、太宰治「待つ」、島尾敏雄「出発は遂に訪れず」、川端康成「生命の樹」、三島由紀夫「英霊の声」など、名だたる作家たちが遺したアジア太平洋戦争の傑作群を収録する。

2019:8./ 761p

978-4-08-761048-2

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2019/08/24



NETFLIX コンテンツ帝国の野望～GAFA を超える最強 IT 企業～

ジーナ・キーティング、牧野 洋 著
新潮社

オリジナル作品でヒットを放ち続けるネットフリックス。彼らはなぜ動画配信の覇者となりえたのか？ 知られざる創業秘話から、大胆な業態変換を経て頂点に上り詰めるまでの物語を描き出す。

朝日新聞 2019/08/24

2019:6./ 382p
978-4-10-507121-9
本体 ¥1,800+税



高慢と偏見(中公文庫 オ 1-5)

ジェイン・オースティン 著
中央公論新社

経済的理由で好きでもない人と結婚していいものだろうか。いつの時代も幸福な結婚を考える女性の変わらない悩みを、細やかな心理描写で描いた名作を新訳。19世紀の挿絵 50 余点も収載。

朝日新聞 2019/08/24

2017:12./ 669p
978-4-12-206506-2
本体 ¥1,100+税



潤みと騒り(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 467-2)

ジェイン・ハーパー、青木 創 著
早川書房

5 人の女性が研修で森に入ったが、戻ってきたのは 4 人だけ。消えた女性は連邦警察官フォークの携帯電話にボイスメッセージを残していた。遭難か、事件か。大自然は女たちの虚飾を容赦なく?ぎ取り...。「渴きと偽り」の続編。

朝日新聞 2019/08/24

2019:8./ 478p
978-4-15-183552-0
本体 ¥1,220+税



渦～妹背山婦女庭訓魂結び～

大島 真寿美 著
文藝春秋

江戸時代、芝居小屋が立ち並ぶ大坂道頓堀。虚実の渦を作り出した、もう一人の近松がいた...。浄瑠璃作者・近松半二の生涯を描いた、著者初の時代小説。『オール讀物』連載を単行本化。

朝日新聞 2019/08/24

2019:3./ 361p
978-4-16-390987-5
本体 ¥1,850+税



プラターナー～憑依のポートレート～

ウティット・ヘーナムーン、福富 渉 著
河出書房新社

絡み合う政治とエロス。ある芸術家の性愛遍歴を通して語られる、人間と国家の「からだ」の欲望とは。生きることそのものの動乱と官能を描く、タイ現代文学気鋭の小説家の初邦訳。

朝日新聞 2019/08/24

2019:6./ 292p
978-4-309-20768-1
本体 ¥2,800+税



嵐が丘<上>(光文社古典新訳文庫)

エミリー・ジェーン・ブロンテ 著
光文社

ヨークシャの荒野に立つ屋敷〈嵐が丘〉。その主人が連れ帰ったヒースクリフは、屋敷の娘キャサリンに恋をする。しかしキャサリンは隣家の息子と結婚することになり、ヒースクリフは失意のなか失踪する...

朝日新聞 2019/08/24

2010:1./ 346p
978-4-334-75199-9
本体 ¥680+税





嵐が丘<下>(光文社古典新訳文庫)

エミリー・ジェーン・ブロンテ 著

光文社

ヒースクリフはリントン家の娘イザベラを誘惑し結婚する。一方、キャサリンは錯乱の末、娘を出産して息絶える。キャサリンの兄ヒンドリーもヒースクリフに全財産を奪われてしまう。ついに嵐が丘を我が物としたヒースクリフだが...

2010:3./ 444p

978-4-334-75200-2

本体 ¥780+税



朝日新聞 2019/08/24



血染めの旅籠〜月影兵庫ミステリ傑作選〜(創元推理文庫 Mな 5-1)

南條 範夫、末國 善己 編

南條 範夫 著

東京創元社

徳川 11 代将軍家斉の時代。老中・松平信明を伯父にもつ、明朗な青年剣士・月影兵庫。彼は伯父の秘命を帯びた道中や、相棒の安との旅路で事件に遭遇する度に、鋭い洞察と武芸を駆使して謎を解く。剣豪小説の名手による 17 編。

2019:8./ 564p

978-4-488-42521-0

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2019/08/24



ガラスの仮面<第 49 巻> めぐりあう魂(花とゆめ COMICS 3998)

美内 すずえ 著

白泉社

朝日新聞 2019/08/24

2012:10./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-592-17009-9

本体 ¥429+税



勘違い〜渡良瀬探偵事務所・十五代目の活躍〜(宝島社文庫 このミス大賞 Cね-1-1)

猫森 夏希 著

宝島社

通夜のため実家に帰った八尋竜一は、久遠という少女に思い出話を請われる。探偵事務所の 15 代目・渡良瀬良平、転校生の北川雪子と 3 人で挑んだ事件とかけがえのない日々。話を聞き終えた久遠は、意外な真相を語り出し....

2019:7./ 319p

978-4-8002-9664-1

本体 ¥680+税



朝日新聞 2019/08/24



文化がヒトを進化させた〜人類の繁栄と<文化-遺伝子革命>〜

ジョセフ・ヘンリック、今西 康子 著

白揚社

なぜヒトは独自の進化の道を歩むことができたのか、それはいつたどの時点からなのか。“ヒトの遺伝的進化の最大の駆動力となってきたのは文化である”という考えのもと、人類の誕生の秘密に迫る。

2019:7./ 605p

978-4-8269-0211-3

本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2019/08/24



BIRTH×SCRAP

シライ ケイタ 著

論創社

新進気鋭の劇作家シライケイタの戯曲集。韓国で戯曲賞を受賞した「BIRTH」、在日コリアンの抱えていた問題を独自の視点で描く「SCRAP」のほか、西堂行人との対談も収録する。

2019:6./ 273p

978-4-8460-1845-0

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2019/08/24



世界史概観 復刻版

史学会 編
村川 堅太郎、山本 達郎、林 健太郎 著
山川出版社

昭和 24?25 年、歴史学会が変動した時期に、史学会がこれからの高校生のために責任あるテキストとして刊行した世界史の教科書を完全復刻。戦後の歴史教育の貴重な資料。

2019:8./ 18p,388p
978-4-634-64166-2
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/08/24、読売新聞 2019/08/25



晩緑~句集~

行方 克巳 著
朔出版

遠くより呼ばれて昼寝覚めにけり 野遊びの君を額田と思ひけり 運動会素面の父の走る走る 冬の蠅打たるる間合はかりある 死ぬる日のありて死ぬなり春疾風 第 8 句集。

2019:8./ 157p
978-4-908978-24-1
本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2019/08/25



何が私をこうさせたか~獄中手記~(岩波文庫 青 N123-1)

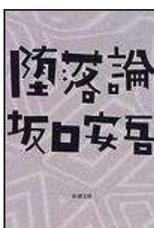
金子 文子 著
岩波書店

関東大震災後、朝鮮人の恋人と共に検束、大逆罪で死刑宣告された金子文子。無籍者として育ち、周囲の大人に虐げられ続けながらも、どん底の体験から社会を捉え、「私自身」を生き続けた迫力の自伝。

2017:12./ 434p
978-4-00-381231-0
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2019/08/31



墮落論(新潮文庫)

坂口 安吾 著
新潮社

朝日新聞 2019/08/31

2000:5./ 322p
978-4-10-102402-8
本体 ¥520+税



デカルトからペイトソンへ~世界の再魔術化~

モリス・バーマン、柴田 元幸 著
文藝春秋

近代科学の成立によって、世界から魔術が失われた。大きなパラダイムチェンジを経て登場したのは、資本主義と科学思考によってできあがった単色の近代である。歴史的なパラダイムの変容を鮮やかに描き出した名著。

2019:7./ 450p
978-4-16-391021-5
本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2019/08/31



『罪と罰』を読まない(文春文庫 み 36-50)

岸本 佐知子、三浦 しをん、吉田 篤弘、吉田 浩美 著
文藝春秋

ドストエフスキーの「罪と罰」を読んだことがない 4 人が、果敢かつ無謀に挑んだ“読まない”読書会。僅かな手がかりから内容を推理、その後みっちり読んでから朗らかに語り合う。

2019:7./ 312p
978-4-16-791320-5
本体 ¥700+税



朝日新聞 2019/08/31



パリっ子の食卓～フランスのふつうの家庭料理のレシピノート～(河出文庫 さ 43-1)

佐藤 真 著
河出書房新社

ホウレン草のグラタン、ラタトゥイユ、ニース風サラダ…。ふつうのフランス人たちがふつうに作って食べている、フランスの家庭料理のレシピを紹介。パリの日本語新聞『オヴニー』の連載をまとめた料理の定番本。

2019:8./ 309p
978-4-309-41699-1

本体 ¥880+税



朝日新聞 2019/08/31



チョンキンマンションのポストは知っている～アングラ経済の人類学～

小川 さやか 著
春秋社

一攫千金を夢見て香港に集まるタンザニア人。彼らのセーフティネット、信用システム、シェア経済とは？既存の制度に期待しない人々の生き様と経済のしくみを読み解く。『ウェブ春秋はるとあき』連載をもとに単行本化。

2019:7./ 273p
978-4-393-33371-6

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2019/08/31



地図で読み解く日本統治下の台湾

陸 傳傑、河本 尚枝 著
創元社

大日本帝国の台湾統治の実態を歴史地図で探る。詳細な市街地をはじめ、山岳民族の村々や行政区画、鉄道や道路・航路といったインフラ、製糖や樟腦の産業用地など、さまざまな地図を18のテーマに沿って考察。

2019:8./ 213p
978-4-422-20273-0

本体 ¥5,000+税



朝日新聞 2019/08/31



月の光を飲んだ少女

ケリー・バーンヒル、佐藤 見果夢 著
評論社

毎年、赤ん坊をいけにえに捧げるその町は、悲しみに閉ざされていた。でも、赤ん坊は善良な魔女ザンに助けられ、離れた場所で幸せに暮らしている。ある年ザンは、助けた赤ん坊ルナに、うっかり月の光をのませてしまい…。

2019:5./ 334p
978-4-566-02463-2

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/08/31



専門知は、もういらぬのか～無知礼賛と民主主義～

トム・ニコルズ、高里 ひろ 著
みすず書房

社会を蝕む反知性主義とは？専門知が蔑ろにされてフェイクがまかり通り、好みの情報だけを取り入れてその正誤を顧みない風潮が高まっている現在。何が起きているのか、放置するとどうなるのか。アメリカの状況を考察する。

2019:7./ 284p,16p
978-4-622-08816-5

本体 ¥3,400+税



朝日新聞 2019/08/31



越中おわら風の盆の空間誌～<うたの町>からみた近代～

長尾 洋子 著
ミネルヴァ書房

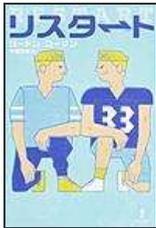
富山県八尾町の民謡行事「おわら風の盆」。地域の人びとが伝えてきたうたをめぐる文化は20世紀前半の日本という文脈の中でどのような展開をみせたのか。<うたの町>八尾に足場をおいて近代の過程を空間誌として描き出す。

2019:8./ 7p,328p,5p
978-4-623-08528-6

本体 ¥5,500+税



朝日新聞 2019/08/31



リスタート

ゴードン・コーマン、千葉 茂樹 著
あすなる書房

おれはチェース・アンブローズ、13 歳。夏休みに屋根から落ちて記憶を失った。おれはアメフトのスター選手だったらしい。しかし、どうやらそれ以上にとんでもないワルガキだったみたいで…。マイナスからの自分探しの物語。

朝日新聞 2019/08/31

2019:7./ 327p
978-4-7515-2939-3

本体 ¥1,600+税



ネコもよう図鑑～色や柄がちがうのはニャンで?～

浅羽 宏 著
化学同人

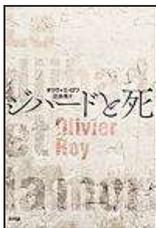
ネコの模様は、遺伝子の組み合わせによって決まります。ネコの模様パターンを 11 通りに分類し、ネコのほっこり写真とともに、遺伝のしくみを解説します。ネコ飼育の歴史などの基礎知識、遺伝子当てクイズも掲載。

朝日新聞 2019/08/31

2019:8./ 111p

978-4-7598-2015-7

本体 ¥1,400+税



ジハードと死

オリヴィエ・ロワ、辻 由美 著
新評論

「イスラーム国」が崩壊しても問題は解決しない。テロリストの膨大なプロフィールを非宗教的観点から読みとぎ、周縁化された若者たちを「死にがい」に誘う幻想の正体を暴く。

朝日新聞 2019/08/31

2019:7./ 221p

978-4-7948-1124-0

本体 ¥1,800+税



言葉の服～おしゃれと気づきの哲学～

堀畑 裕之 著
トランスビュー

私たちがいつしか忘れてしまった「日本の美意識」とは? 「言葉から服を生み出す」気鋭の服飾デザイナーが紡ぐ、服と生活を考えるための哲学的エッセイ集。「対話篇-哲学者・鷲田清一と京都を歩く」も収録。

朝日新聞 2019/08/31

2019:7./ 285p

978-4-7987-0172-1

本体 ¥2,700+税



農本主義という世界

綱澤 満昭 著
風媒社

近代合理主義が排除してきた民衆の<情念>はどこへ向かうのか? その思想的意味はどこにあるのか? 近代的「知」への疑念を抱き、「農本主義」の今日的意味を問い続けてきた著者の集大成。

朝日新聞 2019/08/31

2019:7./ 333p

978-4-8331-0583-5

本体 ¥2,800+税



私は私のままで生きることにした

キム スヒョン、吉川 南 著
ワニブックス

人と比べて何になる? あなたの人生で一番大切にしなければいけないのはあなた自身-。ふんわりしたイラストと力強い言葉で、誰のまねもせず、誰もうらやまず、自分を認めて愛する方法を伝える。韓国のベストセラーを邦訳。

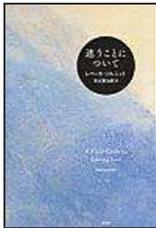
朝日新聞 2019/08/31

2019:3./ 287p

978-4-8470-9753-9

本体 ¥1,300+税





迷うことについて

レベッカ・ソルニット、東辻 賢治郎 著
左右社

ソクラテスという。未知を知ることができるのはそれを思い出しているからだ。著者自身の個人史と世界史の両方に分け入りながら、迷いと痛みの深みのなかに光を見つける、哲学的思索の書。

朝日新聞 2019/08/31

2019:4./ 233p
978-4-86528-234-4
本体 ¥2,400+税



ポスト・オフィス(幻冬舎アウトロー文庫)

チャールズ・ブコフスキー 著
幻冬舎
朝日新聞 2019/08/31

1999:12./ 294p
978-4-87728-829-7
本体 ¥571+税



あとは切手を、一枚貼るだけ

小川 洋子、堀江 敏幸 著
中央公論新社

かつて愛し合い、今は離ればなれに生きる「私」と「ぼく」。2 人を隔てた、取りかえしのつかない出来事。14 通の手紙に編み込まれた哀しい秘密とは…。『アンデル小さな文芸誌』連載を単行本化。

東京・中日新聞 2019/08/04

2019:6./ 292p
978-4-12-005205-7
本体 ¥1,600+税



特攻隊の<故郷>〜霞ヶ浦・筑波山・北浦・鹿島灘〜(歴史文化ライブラリー 485)

伊藤 純郎 著
吉川弘文館

若者たちは、なぜ、どのように、誰の命令で特攻隊員となったのか。筑波山を仰ぐ霞ヶ浦や、北浦・鹿島灘を望む地での厳しい訓練と、食事や外出などの生活から、特攻隊の原風景を探り、その歴史を問い直す。

東京・中日新聞 2019/08/04

2019:7./ 6p,224p
978-4-642-05885-8
本体 ¥1,700+税



夕陽に赤い町中華

北尾 トロ 著
集英社インターナショナル

個人経営の大衆中華料理店、町中華。なぜか通いたくなる店、個性的な店主たち…。北尾トロが、数百軒を訪問して見えてきた町中華の来し方と行く末を多角的に描く。集英社インターナショナルホームページ連載に大幅加筆。

東京・中日新聞 2019/08/04

2019:6./ 253p
978-4-7976-7374-6
本体 ¥1,600+税



悪魔にもらった眼鏡(Artes Mundi 叢書)

亀山 郁夫、野谷 文昭 著
名古屋外国語大学出版会

初訳・新訳で贈る、世界文学短編集。ベッケル「緑の瞳」、コリンズ「悪魔の眼鏡」、ザヴァッティニー「わたしは悪魔だ」、チェーホフ「学生」など、19 世紀から 20 世紀にまたがる欧米とロシアの作品全 12 編を収録する。

東京・中日新聞 2019/08/04

2019:5./ 402p
978-4-908523-19-9
本体 ¥2,000+税





ウチナー三大抵抗者の伝説～当山久三・謝花昇・平良新助～

大下 英治 著
河出書房新社

民権運動を指導して倒れた謝花昇、「沖縄移民の父」と呼ばれた当山久三、2 人とともに闘い、移民の基礎をつくった平良新助。琉球処分後の圧政に抗して民衆のために闘った巨人たちの波乱の生涯を記す。

東京・中日新聞 2019/08/11

2019:5./ 179p
978-4-309-02800-2
本体 ¥1,800+税



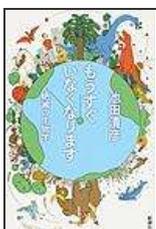
女たちのテロル

ブレイディみかこ 著
岩波書店

生きる主権は我にあり-。金子文子、エミリー・デイヴィソン、マーガレット・スキニダー。道徳や恋愛の呪縛を超え、全力で生き、闘った女たちを甦らせ、未来へ解放つ伝記エッセイ。『図書』連載に書き下ろしを追加。

東京・中日新聞 2019/08/11、日本経済新聞 2019/08/17、読売新聞 2019/08/25

2019:5./ 256p
978-4-00-061342-2
本体 ¥1,800+税



もうすぐいなくなります～絶滅の生物学～

池田 清彦 著
新潮社

地球上に現れた生物の 99%はすでに絶滅。人類はいつ消える？ 生物の絶滅の原因やプロセスを探り、「進化」や「生物多様性」が「絶滅」と深い関係にあることを明らかにする。2018 年開催の新潮講座をもとに単行本化。

東京・中日新聞 2019/08/18

2019:7./ 207p
978-4-10-423112-6
本体 ¥1,300+税



ひとり

キム スム、岡 裕美 著
三一書房

歴史の名のもとに破壊され、打ちのめされた、終わることのない痛み-。歳月が流れ、生存している旧日本軍慰安婦の被害者が、ただひとりになった日からはじまる、韓国の女性作家による長編小説。

東京・中日新聞 2019/08/18

2018:9./ 275p
978-4-380-18007-1
本体 ¥2,000+税



世界の書店を旅する

ホルヘ・カリオン、野中 邦子 著
白水社

世界最古の書店、最も美しい書店、世界一大きな書店…。さまざまな書店を求めて世界各地を旅し、その地にある書店を見て歩いた著者が、書店をめぐる歴史や存在意義、危機に瀕している現状、未来像などについて考察する。

東京・中日新聞 2019/08/18

2019:6./ 309p,31p
978-4-560-09693-2
本体 ¥3,200+税



南方からの帰還～日本軍兵士の抑留と復員～

増田 弘 著
慶應義塾大学出版会

なぜ、南方日本軍兵士の復員への道のりは遠かったのか？ 旧連合国の思惑と米英の駆け引きとは？ 当時の一次史料から、未だ謎の多い南方日本軍兵士の抑留・強制労働・復員の全体像を明らかにする。

東京・中日新聞 2019/08/18、読売新聞 2019/08/18

2019:7./ 262p
978-4-7664-2609-0
本体 ¥2,700+税





『ころ』異聞～書かれなかった遺言～

若松 英輔 著
岩波書店

「先生」はなぜ妻を残して死のうと決心したのか。このテキストは「先生」の死からどれだけの時を経て書かれたのか。夏目漱石「ころ」に隠された謎を読み解く。『図書』連載を改題、改稿・加筆して単行本化。

2019:6./ 8p,239p
978-4-00-022967-8
本体 ¥2,300+税



東京・中日新聞 2019/08/25



ヒト、犬に会う～言葉と論理の始原へ～(講談社選書メチエ 705)

島 泰三 著
講談社

1万5000年前に始まった人間と犬の共生。幻想や感情で判断する人間、論理的に判断する犬。犬は人の言葉を理解し、人の心を読み、人の窮地を救う。人間と犬、運命共同体としての関係の特異性と起源を探る。

2019:7./ 266p
978-4-06-516644-4
本体 ¥1,750+税



東京・中日新聞 2019/08/25



眠狂四郎殺法帖<上>(集英社文庫 し 1-77)

柴田 錬三郎 著
集英社

佐渡の金銀山の不正を探っていた隠密が次々と姿を消した。真相究明に乗り出した眠狂四郎に襲いかかる刺客。少林寺拳法の使い手・陳孫らの助けを借りて罠をかいぐりつつ、見えてきたのは加賀の豪商らによる陰謀で...

2019:6./ 430p
978-4-08-745889-3
本体 ¥900+税



東京・中日新聞 2019/08/25



眠狂四郎殺法帖<下>(集英社文庫 し 1-78)

柴田 錬三郎 著
集英社

加賀の豪商・銭屋五兵衛の陰謀を阻止すべく、北陸路へと踏み入る狂四郎。入国を阻止せんと加賀の剣士が挑みかかる。若き千葉周作との邂逅を経て、忍法五派との技競べと、戦いは続き...

2019:6./ 414p
978-4-08-745890-9
本体 ¥900+税



東京・中日新聞 2019/08/25



掃除婦のための手引き書～ルシア・ベルリン作品集～

ルシア・ベルリン、岸本 佐知子 著
講談社

多くの作家に影響を与えながらも、生前は一部にその名を知られるのみだったルシア・ベルリン。逝去から10年を経て出版され、ベストセラーとなった短篇集から、24篇をよりすぐって収録する。

2019:7./ 317p
978-4-06-511929-7
本体 ¥2,200+税



東京・中日新聞 2019/08/25、毎日新聞 2019/08/25



二度読んだ本を三度読む(岩波新書 新赤版 1776)

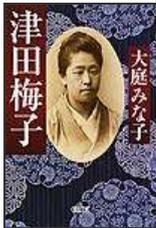
柳 広司 著
岩波書店

繰り返し読んだ名作は、やはり特別な作品だった! 小説家が名作を再読し「本は自分自身を写し出し、遠くの世界と自分をつないでくれていた」ことに気づき...。全ての人に贈る読書案内。『図書』連載に書き下ろしを加え新書化。

2019:4./ 2p,216p
978-4-00-431776-0
本体 ¥780+税



読売新聞 2019/08/04



津田梅子(朝日文庫 お19-3)

大庭 みな子 著
朝日新聞出版

日本初の女子留学生としてアメリカに11年滞在し、帰国後は日本の女子教育に身を捧げた津田梅子。彼女は何を見て何を思い、行動したのか。梅子が創設した津田塾大学で発見された膨大な量の手紙を紐解きながらその生涯を追う。

読売新聞 2019/08/04

2019:7./ 281p
978-4-02-261982-2
本体 ¥700+税



いるいないみらい

窪 美澄 著
KADOKAWA

妊活を始めて4カ月。時間がないとあせる妻に対し、夫の睦生は…。子どもがいてもいなくても、毎日を懸命に生きるすべての人へそっと手を差し伸べてくれる全5編を収録。『小説野性時代』掲載を単行本化。

読売新聞 2019/08/04

2019:6./ 221p
978-4-04-105492-5
本体 ¥1,400+税



ルパンの娘(講談社文庫 よ38-5)

横関 大 著
講談社

わたしは泥棒の娘。結婚を考えていた彼は、警察一家の長男だった。泥棒の娘である華の恋人は刑事の和馬。ある日、華の祖父が殺され、和馬が捜査することになるが…。2人の恋の行方は？ 犯人は？

読売新聞 2019/08/04

2017:8./ 473p
978-4-06-293746-7
本体 ¥840+税



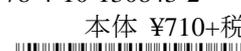
骸骨巡礼～イタリア・ポルトガル・フランス編～(新潮文庫 よ24-13)

養老 孟司 著
新潮社

人は必ず骨になる。例外は、ない。イタリア、ポルトガル、フランスへの墓地めぐりの旅をし、「骸骨」との格闘を重ねた、養老流身体哲学の到達点。怖面白いカラー写真も多数掲載。

読売新聞 2019/08/04

2019:7./ 199p 図版
48p
978-4-10-130843-2
本体 ¥710+税



われら軍人の子～上皇陛下、フジタ、そして僕～

石光 勝 著
中央公論新社

国内外の戦跡をめぐる祈りの旅を全うした「昭和の軍人の子」上皇陛下。敗戦と殺戮の真実を描いた「明治の軍人の子」藤田嗣治。大転換期を生きたその軌跡を、自身の蹂躪されるように過ごした少年期を振り返りながら辿る。

読売新聞 2019/08/04

2019:7./ 270p
978-4-12-005221-7
本体 ¥1,800+税



国際連盟～国際機構の普遍性と地域性～

帯谷 俊輔 著
東京大学出版会

普遍的国際機構としての国際連盟の性格を検討し、その活動の全体像を描き出すとともに、国際連盟と地域機構の関係の様態を明らかにする。戦間期国際関係史に新たな光を当てる一冊。

読売新聞 2019/08/04

2019:6./ 6p,283p,34p
978-4-13-036274-0
本体 ¥5,800+税





バシレウス～呂不韋伝～

塚本 青史 著
NHK出版

自由な発想と独自のルートをもつ大商人・呂不韋は、少年王・政と共に平和な世を目指し動き出す。果たして 550 年間続いた春秋戦国時代に終わりはくるのか？ 中国歴史小説の重鎮が描く、中華統一の物語。

読売新聞 2019/08/04

2019:4./ 315p
978-4-14-005703-2
本体 ¥1,700+税



古墳とヤマト政権～古代国家はいかに形成されたか～(文春新書)

白石 太一郎 著
文芸春秋

ヤマト政権が成立したのは、果して三世紀か、五世紀か、七世紀か。最新の発掘成果をふまえて古代史最大の謎・この国のルーツに迫る。

読売新聞 2019/08/04

1999:4./ 206p
978-4-16-660036-6
本体 ¥660+税



玄宗皇帝

塚本 青史 著
潮出版社

女帝・則天武后、絶世の美女・楊貴妃、奸臣・安禄山が繰り広げる光と影とともに、玄宗皇帝の栄枯盛衰を描く。中国歴史大作。『潮』連載を加筆・修正し、書き下ろしを加えて単行本化。

読売新聞 2019/08/04

2019:5./ 413p
978-4-267-02183-1
本体 ¥1,800+税



島の科学者～パラオ熱帯生物研究所と帝国日本の南洋研究～

坂野 徹 著
勁草書房

帝国日本の科学者は、南の島で何を調べようとしていたのか。日本統治下ミクロネシア、コロール島に存在したパラオ熱帯生物研究所。生物学、医学など、多様な研究者による調査研究の展開と、歴史に翻弄された彼らの軌跡を描く。

読売新聞 2019/08/04

2019:6./ 8p,356p,30p
978-4-326-10274-7
本体 ¥4,700+税



ルパンの消息～長編推理小説～(光文社文庫)

横山 秀夫 著
光文社

読売新聞 2019/08/04

2009:4./ 441p
978-4-334-74569-1
本体 ¥705+税



アウトゼア～未解決事件ファイルの迷宮～(光文社文庫 ま 20-7)

前川 裕 著
光文社

元新聞記者が未解決事件の真相を小説の形式で追及。ある大学教授の見知った男が殺人の容疑者に浮上した「しりょうのふね」をはじめ、「たそがれの通り魔」「冤罪の条件」など全 5 篇を収録する。『小説すばる』掲載を文庫化。

読売新聞 2019/08/04

2019:6./ 341p
978-4-334-77860-6
本体 ¥660+税





ウツツォンの窓の家～マヨルカ島の《キャン・リス》をめぐる断章～

和田 菜穂子、山田 新治郎 著
彰国社

ウツツォンが<シドニー・オペラハウス>での挫折から再起をかけたマヨルカ島の実験住宅<キャン・リス>は、孔のデザインからスタートした建築の原点への模索である。彼が追い求めた住まいのありかを空間体験を通して綴る。

2019:6./ 143p
978-4-395-32136-0
本体 ¥2,500+税



読売新聞 2019/08/04



精神科医の話の聴き方 10のセオリー

小山 文彦 著
創元社

悩むところをどのように受け止めたらよいのか。話を聴き、悩みを受け止めるための10のセオリーについて解説し、それらを基盤とした具体的な対応を、様々な場面ごとに紹介する。各項末にチェックボックス付き。

2019:5./ 184p
978-4-422-11704-1
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2019/08/04



六角定頼～武門の棟梁、天下を平定す～(ミネルヴァ日本評伝選)

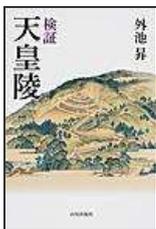
村井 祐樹 著
ミネルヴァ書房

足利将軍家の後盾となり、北近江浅井氏をも支配下に置いた戦国大名・六角定頼。最盛期には天下人ともいえる存在となったのはなぜか。定頼を中心に、近江に盤踞した謎の佐々木六角一族の足跡を辿る。

2019:5./ 20p,329p,10p
978-4-623-08639-9
本体 ¥3,500+税



読売新聞 2019/08/04



検証天皇陵

外池 昇 著
山川出版社

歴代天皇の崩御から埋葬に至る経緯とともに、陵墓の規模や一般的に関心の高い「治定」の真偽について解説。現状写真だけでなく、近代に撮影された古写真や江戸期の絵画史料も掲載し、概観の変遷も辿る。

2016:7./ 377p
978-4-634-15102-4
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2019/08/04



ファンタジーと英国文化～児童文学王国の名作をたどる～

安藤 聡 著
彩流社

なぜ英国はファンタジー王国なのか。「チャーリーとチョコレート工場」「ハリー・ポッター」「不思議の国のアリス」などの名作を、英国の文化的、風土的背景からたどる。写真も多数収録。

2019:5./ 276p,6p
978-4-7791-2592-8
本体 ¥2,800+税



読売新聞 2019/08/04



ビジュアル版 古墳時代ガイドブック(シリーズ「遺跡を学ぶ」別冊 04)

若狭 徹 著
新泉社

世界でも稀にみる巨大墳墓、前方後円墳はなぜ造られ、いかなる社会的役割を負っていたのか。ヤマトと地方の王の関係、生産システムやムラの実態、東アジアとの交流などをビジュアルに解説する。

2013:6./ 94p
978-4-7877-1330-8
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2019/08/04



巨大古墳～前方後円墳の謎を解く～ 新装版(日本人はどのように建造物をつくってきたか)

森 浩一 著
草思社

大阪湾沿岸に位置する大山古墳。この場所に築造された謎を解く鍵は、意外にも堺の港にあった。日本最大、世界でも最大規模の墳墓をつくりあげた古代日本人の知恵と技術を解き明かす。見返しに地図等あり。

2014:11./ 95p
978-4-7942-2091-2
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/08/04



オルガンの芸術～歴史・楽器・奏法～

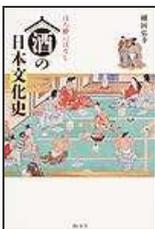
日本オルガニスト協会、松居 直美、廣野 嗣雄、馬淵 久夫 著
道和書院

2000 年余の歴史と様々な文化のもとで花開いた、オルガン芸術。第一線のオルガニスト、ビルダー、研究者らが、その歴史、楽器の構造、奏法を解説し、オルガンの全体像を明らかにする。日本のオルガンの歴史も紹介する。

2019:6./ 10p,391p
978-4-8105-3002-5
本体 ¥3,600+税



読売新聞 2019/08/04



酒の日本文化史～ほろ酔いばなし～

横田 弘幸 著
敬文舎

この列島の歴史のなかで、日本の酒がどのようにして生まれ、どう洗練されてきたのか。酒をめぐる人・モノ・発見にスポットをあて、誇るべき美酒の歴史を紐解く。都道府県別酒豪タイプ出現率など、面白コラムも満載。

2019:7./ 255p
978-4-906822-54-6
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/08/04



フォト・ドキュメンタリー～朝鮮に渡った「日本人妻」～60年の記憶～(岩波新書 新赤版 1782)

林 典子 著
岩波書店

1959 年から 84 年まで行われた在日朝鮮人らの帰国事業。夫に同行し、今もなお北朝鮮に暮らす「日本人妻」たちは、何を考え、何を望んでいるのか。訪朝取材を重ねた著者が、彼女たちの生き様や思いを写真とともに伝える。

2019:6./ 9p,253p
978-4-00-431782-1
本体 ¥1,040+税



読売新聞 2019/08/04、東京・中日新聞 2019/08/11



忘れられた日本人(ワイド版岩波文庫 160)

宮本常一 著
岩波書店

読売新聞 2019/08/11

1995:2./ 334p
978-4-00-007160-4
本体 ¥1,300+税



カヴァレリーア・ルスティカーナ～他 11 篇～(岩波文庫 赤 707-1)

G.ヴェルガ 著
岩波書店

荒涼たる風土。原始的本能のままに生きる人間。斬新な目で故郷シチリアを捉え直し、社会の底辺であえぐ人びとを、その人間的な優しさを、酷薄なまでに簡潔な文体で描いたヴェルガ。「田舎流騎士道」の意の表題作など傑作 12 篇。

1981:3./ 284p
978-4-00-327071-4
本体 ¥780+税



読売新聞 2019/08/11



戦争とおはぎとグリーンピース〜婦人の新聞投稿欄「紅血」集〜(角川文庫 あ 111-1)

KADOKAWA

息子の生還を祈っておはぎを作り続けた母、満州引き揚げの際も決して手離さなかった形見のなべ。昭和 30 年代の新聞の小さな投稿欄に、家族のため必死で生き抜いた女性たちの戦争と戦後が浮かび上がる。全 42 編の昭和の記憶。

2019:6./ 217p
978-4-04-106884-7

本体 ¥620+税



読売新聞 2019/08/11



てのひらを燃やす〜歌集〜(塔 21 世紀叢書 第 228 篇)

大森 静佳 著

角川書店

冬の駅ひとりになれば耳の奥に硝子の駒を置く場所がある 言葉にわたしが追いつくまでを沈黙の白い月に手かざして待てり 大学生として京都で過ごした 4 年間の歌 274 首を収めた第 1 歌集。

2013:5./ 165p

978-4-04-652727-1

本体 ¥2,381+税



読売新聞 2019/08/11



屋根屋

村田 喜代子 著

講談社

雨漏りのする屋根の修理にやってきた屋根屋。自在に夢を見られると語る彼の誘いに乗って、「私」は夢のなかの旅へ一緒に出かける。屋根職人と平凡な主婦の奇想天外な空の旅。『群像』連載を単行本化。

2014:4./ 307p

978-4-06-218774-9

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/08/11



産まなくても、産めなくても(講談社文庫 あ 98-4)

甘糟 りり子 著

講談社

不妊治療中の女性たちの集いで、卵巣の劣化の話聞いて愕然となり...。「ターコイズ」ほか、顕微授精や男性不妊など、妊娠と出産にまつわるテーマを切り取った 7 つの物語を収録。

2019:7./ 284p

978-4-06-516497-6

本体 ¥640+税



読売新聞 2019/08/11



掃除屋(クリーナー)〜プロレス始末伝〜(集英社文庫 く 35-1)

黒木 あるじ 著

集英社

依頼を受け、相手をリング上で制裁する「掃除屋」。ベテランレスラーのピューマ藤戸はそんな裏の顔を持つ。様々な事情を抱える依頼人から高額な報酬をせしめる背景にあるのは-。『小説すばる』連載に加筆修正し文庫化。

2019:7./ 300p

978-4-08-744004-1

本体 ¥660+税



読売新聞 2019/08/11



あむんぜん

平山 夢明 著

集英社

アイドルヲタクのサブローが、己のすべてを賭けて「ヤブサカ 69」の治安維持活動に励み...。「ヲタポリス」をはじめ、全 6 話を収録した短編集。集英社 WEB 文芸『レンザブロー』掲載を書籍化。

2019:7./ 263p

978-4-08-771193-6

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2019/08/11



テングス紀<5> 絶影

北方 謙三 著
集英社

タイチウト氏のタルグダイ軍に挑むテムジン。モンゴル族の覇権を懸けた闘いだ、盟友ジャムカは援軍を出せない。しかもタルグダイのもとには、最強の男・玄翁がいるはずで…。『小説すばる』連載を加筆・修正。

2019:7./ 341p
978-4-08-771196-7
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/08/11



日蝕つきる

花村 萬月 著
集英社

江戸に逃れて夜鷹となり唐瘡に罹ってしまう女。濡れ衣で入牢し拷問される男…。天明 6 年正月に起きた皆既日蝕を背景に、極限の暗黒を描いた傑作時代小説集。『小説すばる』掲載を書籍化。

2016:8./ 221p
978-4-08-771669-6
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2019/08/11



人生の踏絵(新潮文庫 え-1-39)

遠藤 周作 著
新潮社

人生にも、さまざまな「踏絵」がある。そんな踏絵を踏んでしまう弱い人間にこそ、神は寄り添ってくれる…。不朽の傑作「沈黙」の創作秘話をはじめ、文学と宗教、人生の救済と奥深さを縦横に語る遠藤周作の名講演集。

2019:8./ 228p
978-4-10-112339-4
本体 ¥490+税



読売新聞 2019/08/11



ルネサンスの女たち(新潮文庫 し-12-41)

塩野 七生 著
新潮社

イザベッラ・デステ、ルクレツィア・ボルジア、カテリーナ・スフォルツァ、カテリーナ・コルネール…。ルネサンス時代を代表する 4 人の女の人生を鮮やかに描き出した、塩野文学の出発点。

2012:8./ 431p,12p
978-4-10-118141-7
本体 ¥670+税



読売新聞 2019/08/11



朝顔の日

高橋 弘希 著
新潮社

凜太は TB(テーベ)を患い療養する幼馴染みの妻・早季を足繁く見舞っている。身体も、精神も、安静に保つ日々。しかし病状は悪化、咽喉の安静のため若い夫婦はついに会話を禁じられ…。『新潮』掲載を単行本化。

2015:7./ 123p
978-4-10-337072-7
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2019/08/11



孤独の意味も、女であることの味わいも

三浦 瑠麗 著
新潮社

本を偏愛した少女時代。学校生活での疎外は暴力へ。夫との出会い、最愛のわが子を喪う経験、母親から再び女性になるということ-。気鋭の国際政治学者が、長年抱いてきた葛藤を初めて明かす。

2019:5./ 139p
978-4-10-352252-2
本体 ¥1,300+税



読売新聞 2019/08/11



恐怖の哲学～ホラーで人間を読む～(NHK 出版新書 478)

戸田山 和久 著
NHK出版

恐怖は知性だ！ 人間存在のフクザツさを読み解くのに格好の素材がホラー。おなじみのホラー映画を鮮やかに分析し、感情の哲学から心理学、脳科学まで多様な知を縦横無尽に駆使、キョーフの正体に迫る。

2016:1./ 445p
978-4-14-088478-2
本体 ¥980+税



読売新聞 2019/08/11



週刊文春「シネマチャート」全記録(文春新書 1169)

週刊文春 編
文藝春秋

1977年にスタートした『週刊文春』の名物映画評「シネマチャート」。40年間で29名の歴代評者が4千本を超える映画につけてきた☆を集計し、洋画ベスト200、邦画ベスト50を選出する。座談会や資料も収録。

2018:5./ 300p
978-4-16-661169-0
本体 ¥920+税



読売新聞 2019/08/11



イジェアウェレへ～フェミニスト宣言、15の提案～

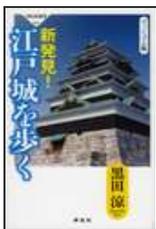
チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ、くぼた のぞみ 著
河出書房新社

どうしたら「女だから」という理由でふりかかる、理不尽でマイナスな体験をさせずに子育てできる？ 女の子を出産した友に尋ねられた著者が15の提案を手紙の形で綴る、本気のフェミニスト宣言。

2019:6./ 131p
978-4-309-20772-8
本体 ¥1,380+税



読売新聞 2019/08/11



新発見!江戸城を歩く～ヴィジュアル版～(祥伝社新書 573)

黒田 涼 著
祥伝社

環状構造の内堀と外堀、区分された大名屋敷、天守台、石垣、門…。江戸城の痕跡に触れることができる、半日で歩ける15のコースを、地図や写真とともに厳選紹介する。

2019:6./ 258p
978-4-396-11573-9
本体 ¥1,150+税



読売新聞 2019/08/11



銀座の酒場を歩く(ちくま文庫 お 71-1)

太田 和彦 著
筑摩書房

銀座の酒場には特別な魅力がある。多くの文化人に愛された老舗バー、昼から飲兵衛が集まる大衆居酒屋…。自身も若き頃を銀座で過ごした<酒場の達人>が、有名店から通好みまで73軒を飲み歩く。

2015:12./ 318p
978-4-480-43305-3
本体 ¥820+税



読売新聞 2019/08/11



逝きし世の面影(平凡社ライブラリー)

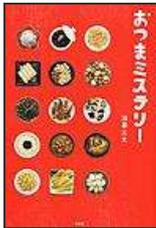
渡辺 京二 著
平凡社

昭和を問うなら開国を問え。そのためには開国以前の文明を問え…。幕末から明治に日本を訪れた、異邦人による訪日記を読破。日本近代が失ったものの意味を根本から問い直した超大作。

2005:9./ 604p
978-4-582-76552-6
本体 ¥1,900+税



読売新聞 2019/08/11



おつまミステリー

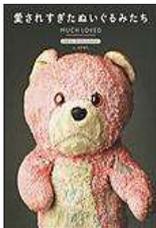
浅暮 三文 著
柏書房

カシューナツの真実、ザーサイと三国志の関係、海苔の佃煮の東西問題…。万人が一度は目にしつつ、内実にあまり詳しくない「おつまみ」。その素顔に推理作家が迫る。

読売新聞 2019/08/11

2019:7./ 167p
978-4-7601-5147-9

本体 ¥1,800+税



愛されすぎたぬいぐるみたち

マーク・ニクソン、金井 真弓 著
オークラ出版

何十年もいっしょに過ごすうちに、かなりぼろぼろになってしまったぬいぐるみたち。U2 のボノやミスター・ビーンのカマなど、愛の重みを一身に受けたぬいぐるみたちの姿を、笑いや涙の思い出が詰まった文章とともに紹介する。

読売新聞 2019/08/11

2017:7./ 130p

978-4-7755-2669-9

本体 ¥1,700+税



韓国人のこころとくらし〜「チンダルレの花」と「アリラン」〜

イ ギュテ、矢島 暁子 著
彩流社

親切にされるのは自分の過ち？体がぶつかっても謝らない？食事は早く終わるのが美德？韓国人とはいどんな人達なのか、どのようにものを考えているのか。ありのままの韓国人の心の中を解き明かす。

読売新聞 2019/08/11

2019:4./ 269p

978-4-7791-2576-8

本体 ¥2,500+税



咲き定まりて〜市川雷蔵を旅する〜

清野 恵里子 著
集英社インターナショナル

日本映画の黄金期に燦然と輝く足跡をしるし、早世した美貌の映画俳優、市川雷蔵。今もなお多くの人々を魅了する雷蔵その人と、雷蔵映画 27 作品を丹念に読み解く。写真も 100 枚以上収録。

読売新聞 2019/08/11

2017:12./ 317p

978-4-7976-7348-7

本体 ¥2,400+税



科学する心

池澤 夏樹 著
集英社インターナショナル

大学で物理学を学び、作品に科学的題材を織り込んできた池澤夏樹。「科学する心」を持ち続けた作家が、人工知能、進化論、永遠と無限、日常の科学などを「文学的まなざし」を保ちつつ考察する。『考える人』等連載を単行本化。

読売新聞 2019/08/11

2019:4./ 261p

978-4-7976-7372-2

本体 ¥1,800+税



土と内臓〜微生物がつくる世界〜

デイビッド・モントゴメリー、アン・ビクレー、片岡 夏実 著
築地書館

マイクロバイーム研究で明かされた人体での驚くべき微生物の働きと、土壌での微生物相の働きによる豊かな農業とガーデニング。微生物研究と人間の歴史を振り返り、微生物と動植物との共生関係、免疫との関わりを紹介する。

読売新聞 2019/08/11

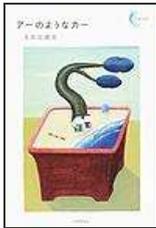
2016:11./

12p,333p,36p

978-4-8067-1524-5

本体 ¥2,700+税





アーのようなカー(新鋭短歌 46)

寺井 奈緒美 著
書肆侃侃房

花びらをビニール傘に貼り付けてそこに居た時間がうつくしい 終電を運転し終えた
駅員が寂しくないよう待っている月 年老いてとうとうドアSTOPパーになりし犬いる中
華料理屋 ゆっくり入ってきて、じわじわと心に効く歌集。

読売新聞 2019/08/11

2019:4./ 141p
978-4-86385-359-1
本体 ¥1,700+税



ニュートンとコーヒータイム(コーヒータイム人物伝)

マイケル・ホワイト、大森 充香 著
三元社

万有引力の法則、光学理論...。天才かつオカルト好きのニュートンの実像とは? 確
かな歴史的事実に基づいて、想像上のインタビュアーが架空のニュートンにインタ
ビュー。リラックスしたおしゃべりの中でその生涯の真実を聞く。

読売新聞 2019/08/11

2018:12./ 137p
978-4-88303-469-7
本体 ¥1,500+税



山田稔自選集<1>

山田 稔 著
編集工房ノア

エッセイで小説、「散文芸術」の味わい。エッセイ「ああ、そうかね」「あ・ぷろぽ」から
精選した短篇に、戯曲をふくむ数篇を加えて編んだ多彩な散文集。

読売新聞 2019/08/11

2019:7./ 310p
978-4-89271-308-8
本体 ¥2,300+税



わが親愛なるパレスチナ隣人へ〜イスラエルのユダヤ人からの手紙〜

ヨッシー・クライン・ハレヴィ、神藤 誉武 著
ミルトス

ユダヤ教徒として他宗教との相互理解に取り組む著者が、隣人であるパレスチナ人
にユダヤ人の物語を語り、ユダヤ人のアイデンティティにおけるイスラエルの重要性
を説くと共に、対話の大切さを訴える。著者のインタビュー付き。

読売新聞 2019/08/11

2019:4./ 282p
978-4-89586-163-2
本体 ¥2,500+税



考えるヒット〜テーマはジャニーズ〜

近田 春夫 著
スモール出版

SMAP の関係の妙、変幻自在の嵐の新サウンド、良くも悪くも“大人”になった関ジャニ...。平成の音楽シーンを、ジャニーズの楽曲を軸に読む。『週刊文春』連載に
書き下ろしを加えて書籍化。

読売新聞 2019/08/11

2019:2./ 317p
978-4-905158-62-2
本体 ¥1,600+税



未来を生きるスキル(角川新書 K-262)

鈴木 謙介 著
KADOKAWA

社会の変化を見据え、どのように未来に向かえばいいのか? 「AI で仕事なくなる」「子どもの教育が変わる」などのいま起きている変化をテーマに、次の社会を生きる
ためのスキルである「協働」の価値について述べる。

読売新聞 2019/08/18

2019:5./ 233p
978-4-04-082270-9
本体 ¥840+税





縄文論争(講談社選書メチエ)

藤尾 慎一郎 著
講談社

縄文人はどこから来たか?すでに米を作っていたのになぜ稲作中心の社会にならなかったのか?三内丸山遺跡発見の真の意義は何か?百家争鳴の縄文像を検証し、最新の知見で縄文学の最前線を紹介する。

読売新聞 2019/08/18

2002:12./ 250p
978-4-06-258256-8

本体 ¥1,500+税



キヤット・パーソン

クリステン・ルーペニアン、鈴木 潤 著
集英社

スマホ越しのロマンスに身を焦がす女子大生、ひそかに復讐を企てるバースデーガール、理想の伴侶を探し求める王女、ハンサムな上司に?みつきたい OL...。欲望の先に待ち受ける、ダークでファニーな真実をえぐりだす短篇集。

読売新聞 2019/08/18

2019:7./ 333p

978-4-08-773500-0

本体 ¥2,100+税



ラスボスの伝言~小林幸子の「幸」を招く20のルール~

小林 幸子 著
小学館

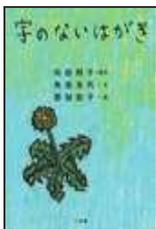
ライバルは常に過去の自分、自分の機嫌は自分で取る、未来の姿は白紙でいい...。小林幸子が人生をより楽しく過ごし、より大きな「幸」を招くために心がけている20のルールを、短い言葉で紹介する。ぬり絵、ステッカー付き。

読売新聞 2019/08/18

2019:6./ 157p

978-4-09-388708-3

本体 ¥1,200+税



字のないはがき

小学館

戦争中、疎開するちいさな妹に、お父さんは「元気な日は、はがきにまるを書いてポストにいれなさい」と言って、たくさんのはがきを渡した...。妹と父のエピソードを綴った向田邦子の名エッセイを、角田光代と西加奈子が絵本化。

読売新聞 2019/08/18

2019:5./ 1冊(ページ付なし)

978-4-09-726848-2

本体 ¥1,500+税



介護殺人~追いつめられた家族の告白~(新潮文庫 ま-55-1)

毎日新聞大阪社会部取材班 著
新潮社

なぜ最愛の肉親を手にかけてしまったのか。家族の絆がなぜ悪夢に変わったのか。当事者の悲痛な叫びに耳を傾けた記者たちが目の当たりにしたのは、在宅介護の切なすぎる現実だった。在宅介護の壮絶な現実と限界を明かす。

読売新聞 2019/08/18

2019:6./ 292p

978-4-10-101291-9

本体 ¥550+税



1988年のパ・リーグ

山室 寛之 著
新潮社

1988年のパ・リーグで何が起こっていたのか? 南海・阪急の衝撃的な身売りに、伝説の「10.19」ロッテ vs 近鉄のダブルヘッダー。“球史”に残る、昭和最終年のシーズン舞台裏を新証言と資料で綴る。

読売新聞 2019/08/18

2019:7./ 239p

978-4-10-352731-2

本体 ¥1,550+税





疾走!千マイル急行<上>(ハヤカワ文庫 JA 1387)

小川 一水 著
早川書房

選ばれた乗客とともに大陸を横断する国際寝台列車「千マイル急行」で、名門中等院に通うテオは向学の旅に出るが、出発して間もなく列車は襲撃されてしまう。しかし密かに連結されていた謎の貨車と装甲列車が反撃を開始し....

2019:7./ 333p
978-4-15-031387-6
本体 ¥760+税



読売新聞 2019/08/18



疾走!千マイル急行<下>(ハヤカワ文庫 JA 1388)

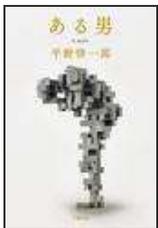
小川 一水 著
早川書房

危機を脱したテオたちにもたらされたのは祖国占領の報だった。一夜にして難民となったテオは、少年少女らとともに援軍を求めて東半陸の采陽を目指す。だが帰る国を失った寝台列車は、立ち寄り町々で嫌悪され執拗に狙われ....

2019:7./ 366p
978-4-15-031388-3
本体 ¥760+税



読売新聞 2019/08/18



ある男

平野 啓一郎 著
文藝春秋

里枝には、2歳の次男を脳腫瘍で失って、夫と別れた過去があった。長男を引き取り、14年ぶりに故郷に戻ったあと、「大祐」と再婚するが、「大祐」は事故で命を落とす。さらに、衝撃の事実が....『文學界』掲載を単行本化。

2018:9./ 354p
978-4-16-390902-8
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/08/18



アーモンド

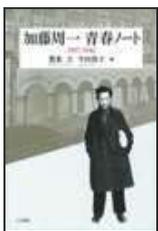
ソン ウォンピョン、矢島 暁子 著
祥伝社

アーモンド(扁桃体)が人より小さく、怒りや恐怖を感じるできないユンジェ。彼の前にもうひとりの“怪物”が現れて....。他人の感情がわからない少年と、物心もつかないうちに親とはぐれた不良少年、2人の成長物語。

2019:7./ 267p
978-4-396-63568-8
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/08/18



加藤周一青春ノート~1937-1942~

加藤 周一、半田 侑子 編
加藤 周一 著

人文書院

加藤周一が18歳から22歳にかけて書き綴った8冊のノートには小説、詩歌、評論、随想、日記、らくがきなどが年代順に記される。加藤の思索の記録、戦争の時代の証言として貴重なものを選び抄録。註、関連年譜、解説を付す。

2019:5./ 345p
978-4-409-04111-6
本体 ¥3,800+税



読売新聞 2019/08/18



地震イツモマニュアル(ポプラ文庫 し 5-2)

地震イツモプロジェクト 編
寄藤 文平、プラス・アーツ 著
ポプラ社

阪神・淡路大震災の被災者の声と工夫をまとめた「地震イツモノート」の実践版。「モシモ」ではなく「イツモ」できることが詰まった、本当に役立つ防災マニュアル。グループ等各企業が防災に役立つ情報を紹介するコラムも掲載。

2019:8./ 128p
978-4-591-16378-8
本体 ¥600+税



読売新聞 2019/08/18



明智光秀・秀満〜ときハ今あめが下しる五月哉〜(ミネルヴァ日本評伝選)

小和田 哲男 著
ミネルヴァ書房

織田家重臣として活躍しながらも、主君信長への謀反を起こした明智光秀とその女婿秀満。謎に包まれたふたりの前半生、そして行動と人となり、さらには本能寺の変に至った動機と背景を解明する。

2019:6./ 14p,263p,11p
978-4-623-08656-6

本体 ¥2,500+税



読売新聞 2019/08/18



恐竜・古生物ビフォーアフター

土屋 健、群馬県立自然史博物館、ツク之助 著
イースト・プレス

あれ? いつの間にこんな姿に? 研究の進歩で変わった、恐竜たち 30 の物語。1970年代?90年代の書籍をピックアップし、当時の典型的な恐竜イメージと最新情報のちがいを、イラストとともにまとめる。

2019:5./ 207p
978-4-7816-1787-9
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/08/18



消えた巨大生物〜スーパービジュアル再現〜(NATIONAL GEOGRAPHIC)

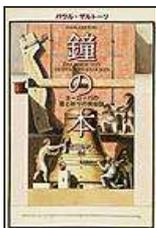
エマニュエル・グルンドマン、ピエール=オリヴィエ・アントワーン、福井県立大学恐竜学研究所、福井県立恐竜博物館、竹花 秀春、ジャンクリストフ・エラリー 著
日経ナショナルジオグラフィック社

6 トンのナマケモノ、7 メートルのサイ…。過去に存在し、地上から消えてしまった巨大生物を、精細で迫力ある CG で再現。巨大種を誕生させた進化の仕組みとは? なぜ減ったのか? 巨大生物の生態と宿命的な困難を考察する。

2019:6./ 218p
978-4-86313-434-8
本体 ¥2,800+税



読売新聞 2019/08/18



鐘の本〜ヨーロッパの音と祈りの民俗誌〜

パウル・ザルトーリ、吉田 孝夫 著
八坂書房

古きよきヨーロッパの象徴といふべき<鐘>。中世以来、つねに鐘の音とともにあった日常、その具体的な実像から、鐘鑄造をめぐる奇蹟譚や沈鐘伝説などの民間伝承まで、20世紀前半のドイツ語圏における鐘の文化の諸相を描く。

2019:5./ 454p,10p
978-4-89694-261-3
本体 ¥3,200+税



読売新聞 2019/08/18



南洋通信 増補新版(中公文庫 な56-2)

中島 敦 著
中央公論新社

1941年に南洋庁の官吏としてパラオに赴任した中島敦。その目に映った「南洋」とは。小品「南島譚」「環礁」に加え、南洋群島(ミクロネシア)から妻子宛てに毎日のように綴られた多くの書簡を収録する。

読売新聞 2019/08/18、朝日新聞 2019/08/31

2019:7./ 284p
978-4-12-206756-1
本体 ¥900+税



水害列島(文春新書 1227)

土屋 信行 著
文藝春秋

毎年起きる大水害。ゼロメートル地帯が広範囲に広がる東京・大阪・名古屋は特に危険だ。どう対処するべきか? 土木・災害の専門家による大水害に立ち向かうための指南書。

読売新聞 2019/08/18、日本経済新聞 2019/08/24

2019:7./ 255p
978-4-16-661227-7
本体 ¥850+税



努力論(角川ソフィア文庫 G117-1)

幸田 露伴 著
KADOKAWA

努力しないで努力をすると、実力以上の仕事ができる。明治から大正にかけて、西洋思想に匹敵する生き方論を示した幸田露伴の不朽の名著。「立志に関する王陽明の教訓」も収録。

読売新聞 2019/08/25

2019:7./ 349p
978-4-04-400452-1
本体 ¥720+税



夫婦茶碗(新潮文庫)

町田 康 著
新潮社

読売新聞 2019/08/25

2001:4./ 221p
978-4-10-131931-5
本体 ¥430+税



三菱海軍戦闘機設計の真実～曾根嘉年技師の秘蔵レポート～

杉田 親美 著
国書刊行会

三菱航空機の技師・曾根嘉年が終戦後の焼却命令に反し保管し続けた三菱の戦闘機開発に関するメモや海軍との交渉議事録等を読み解き、「零戦」などの開発に関する新事実を明らかにする。『防衛技術ジャーナル』連載を加筆修正。

読売新聞 2019/08/25

2019:7./ 267p
978-4-336-06367-0
本体 ¥2,800+税



ホームズ連盟の冒険(祥伝社文庫 き24-2)

北原 尚彦 著
祥伝社

宿敵モリアーティ教授、相棒の愛妻メアリ・ワトソン夫人、名探偵の兄マイクロフト・ホームズ…。ホームズの周囲のキャラクターたちを主人公にした連作短編集。「ホームズ連盟の事件簿」の姉妹篇。

読売新聞 2019/08/25

2019:5./ 292p
978-4-396-34526-6
本体 ¥660+税





沙羅乙女(ちくま文庫 し 39-13)

獅子 文六 著
筑摩書房

家族を支え健気に生きる遠山町子 24 歳。そんな彼女に惹かれる男性が 2 人現れる。しかし、仕事も恋も二転三転、想像もしなかった方向へ動き始めた町子の人生に衝撃の結末が待っていた...

2019:7./ 389p
978-4-480-43601-6
本体 ¥840+税



読売新聞 2019/08/25



コ・イ・ヌール～美しきダイヤモンドの血塗られた歴史～

ウィリアム・ダルリンプル、アニタ・アナンド、杉田 七重 著
東京創元社

暗殺、拷問、植民地支配...。インドから英国にわたるまでの数百年、その宝石はいかなる災いを人々にもたらしたのか。“光の山”という意味の巨大なダイヤモンド「コ・イ・ヌール」を巡る歴史を描く。

2019:5./ 266p,32p 図
版 16p
978-4-488-00391-3



読売新聞 2019/08/25



シニアひとり旅～インド、ネパールからシルクロードへ～(平凡社新書 914)

下川 裕治 著
平凡社

シニアだからこそ味わえる、ひとり旅の良さ。バックパッカーの憧れの地・インド、シルクロードの交易地として栄えた中央アジアの国々...。アジア各地を旅してきた著者が、シニアならではの目線で南・中央アジアの旅を紹介する。

2019:6./ 238p
978-4-582-85914-0
本体 ¥860+税



読売新聞 2019/08/25



抹殺された日本軍恤兵部の正体～この組織は何をし、なぜ忘れ去られたのか?～(扶桑社新書 304)

押田 信子 著
扶桑社

国民から多額の献金を集め、女優や芸人を戦地慰問に送り出し、娯楽系慰問雑誌を発刊した「日本軍恤兵部」。彼らは何をし、なぜ忘れ去られたのか。貴重な資料を基に、国民の熱から生まれた恤兵部の誕生から解体までを追う。

2019:7./ 329p
978-4-594-08236-9
本体 ¥1,080+税



読売新聞 2019/08/25



教養としてのマンガ(扶桑社新書 306)

橋本 博 著
育鵬社

いまや国立大学でもマンガが教えられる時代。“伝説のマンガ専門古書店”元店主で文化庁マンガアーカイブ事業にも携わるマンガ評論界のレジェンドが、自身の体験を通じて「マンガの本当の力」を伝える。

2019:6./ 249p
978-4-594-08239-0
本体 ¥920+税



読売新聞 2019/08/25



日本史概観 復刻版

史学会 編
山川出版社

昭和 24?25 年、歴史学会が変動した時期に、史学会がこれからの高校生のために責任あるテキストとして刊行した日本史の教科書を完全復刻。戦後の歴史教育の貴重な資料。

2019:8./ 2p,4p,347,13p
978-4-634-59303-9
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/08/25



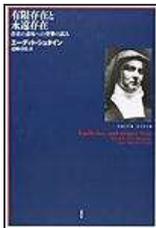
未来のアラブ人～中東の子ども時代(1978-1984)～

リアド・サトゥフ、鶴野 孝紀 著
花伝社

シリア人の大学教員の父、フランス人の母のあいだに生まれた作家リアド・サトゥフの自伝的コミック。父が「未来のアラブ人」になれと望むリアドは、文化のはざまに戸惑い、歴史的事象を目撃しながら、たくましく育っていき…。

読売新聞 2019/08/25

2019:7./ 164p
978-4-7634-0894-5
本体 ¥1,800+税



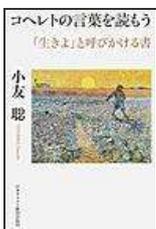
有限存在と永遠存在～存在の意味への登攀の試み～

エーデイト・シュタイン、道躰 章弘 著
水声社

有限の諸原因をめぐる数多の知識を足場にして、永遠無限の存在としての<神>という山頂を目指す、フッサールの高弟にしてカルメル会修道女、エーデイト・シュタインの哲学の到達点。

読売新聞 2019/08/25

2019:3./ 602p
978-4-8010-0420-7
本体 ¥8,000+税



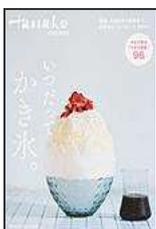
コヘレトの言葉を読もう～「生きよ」と呼びかける書～

小友 聡 著
日本キリスト教団出版局

すべては空しい。そんな、一見、聖書らしからぬ言葉に満ちたコヘレト書。コヘレトは“虚無主義者”なのか? 不思議な魅力を放つ「コヘレトの言葉」を読み解き、その主題を浮き彫りにする。『信徒の友』連載をまとめたもの。

読売新聞 2019/08/25

2019:3./ 131p
978-4-8184-1027-5
本体 ¥1,400+税



いつだってかき氷。～Hanako sweets～(MAGAZINE HOUSE MOOK)

マガジンハウス

氷の種類はもちろん、削り方、さまざまなシロップの誕生で、奥深く広がったかき氷の世界。天然氷のかき氷と、純氷のかき氷が食べられるお店をピックアップして紹介する。『Hanako』掲載を再編集。

読売新聞 2019/08/25

2019:7./ 130p
978-4-8387-5370-3
本体 ¥1,111+税



市場界限～那覇市第一牧志公設市場界限の人々～

橋本 倫史 著
本の雑誌社

2019年6月に建て替える那覇市第一牧志公設市場。戦後の闇市に起源を持ち、70年以上の歴史を抱える市場に通い詰めた著者が、変わりゆく市場界限、働く人々の日常を記す。写真も豊富に収録。

読売新聞 2019/08/25

2019:5./ 274p
978-4-86011-430-5
本体 ¥1,850+税



上下する天文～キトラ・高松塚古墳の謎～

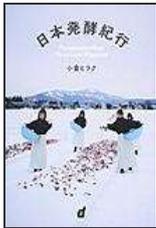
来村 多加史 著
教育評論社

構成した画家も描かれた時期もほぼ同じとされるキトラと高松塚古墳壁画の天文図は、なぜ大きく異なるのか。飛鳥美人たちはなぜ描かれたのか。最新の調査と中国考古学から、古代人の思いに迫る。

読売新聞 2019/08/25

2019:6./ 223p
978-4-86624-022-0
本体 ¥1,800+税





日本発酵紀行

小倉 ヒラク 著

D&DEPARTMENT PROJECT

愛知・岡崎の八丁味噌、秋田・八森のしょつつる、兵庫・淡路島の清酒…。発酵デザイナーである著者が、47 都道府県の発酵文化を訪ねた記録。2019 年 4/7 月に d47MUSEUM で開催される展覧会の関連書籍。

2019:6./ 217p

978-4-903097-63-3

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/08/25、毎日新聞 2019/08/25



黒髪と美の歴史(角川ソフィア文庫 J130-1)

平松 隆円 著

KADOKAWA

垂髪、結髪、そして盛り髪。これらは、日本の歴史のなかで突然あらわれたものではない。「源氏物語」から現代まで、髪を指標として、ひとと社会や文化との関係性を読み解く。

2019:7./ 231p

978-4-04-400482-8

本体 ¥1,080+税



日本経済新聞 2019/08/03



ヒッキーヒッキーシェイク(ハヤカワ文庫 JA 1379)

津原 泰水 著

早川書房

ヒキコモリ支援センター代表の笠原丈吉は、「人間創りに参加してほしい」と顧客たちを連携させ、あるプロジェクトを始動する。ヒッキーたちの疑心はジェリーフィッシュを名乗る謎の暗鬼を生み…。

2019:6./ 408p

978-4-15-031379-1

本体 ¥820+税



日本経済新聞 2019/08/03



物語創世～聖書から<ハリー・ポッター>まで、文学の偉大なる力～

マーティン・プフナー、塩原 通緒、田沢 恭子 著

早川書房

聖書から千夜一夜物語、源氏物語、ハリーポッターまで、影響力の大きな「物語」に注目。書字技術の発展とともにそれらがどう広まり、どのように宗教、政治、経済を、歴史や人間そのものを変えていったのかを説く。

2019:6./ 471p

978-4-15-209869-6

本体 ¥4,500+税



日本経済新聞 2019/08/03



北朝鮮外交秘録～三階書記室の暗号～

太 永浩、鐸木 昌之、李 柳真、黒河 星子 著

文藝春秋

核開発の舞台裏、イスラエルとの極秘交渉、日朝平壤宣言での敗北…。30 年間にわたり平壤心臓部を生き抜いた歴代最高位の亡命外交官が、人生を賭けて金政権中枢の真実を明かす。

2019:6./ 492p

978-4-16-391038-3

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2019/08/03



斜め下からカーブ論(文春文庫 お 77-1)

オギリマ サホ 著

文藝春秋

菊池涼介の帽子のつば真っ平ら問題、野球選手とパンチパーマ、九里亜蓮をフルネームで呼んでしまうわけ…。独自の視点で広島カーブを分析したイラスト&エッセイ集。『文春オンライン』掲載に書き下ろしを加えて文庫化。

2019:7./ 191p

978-4-16-791321-2

本体 ¥720+税



日本経済新聞 2019/08/03



対米従属の起源「1959年米機密文書」を読む

谷川 建司、須藤 遙子 著
大月書店

安保条約改定前夜、改憲や再軍備、米軍基地問題などをめぐり、左派的な風が吹いていた日本。文化人や大学教員への接触、マスコミの利用など、さまざまな活動を展開した USIS ジャパンの政策と評価を記した機密文書の全訳。

2019:5./ 14p,410p
978-4-272-52113-5
本体 ¥3,600+税



日本経済新聞 2019/08/03



鉄道を支える匠の技～訪ね歩いた、ものづくりの現場～(交通新聞社新書 134)

青田 孝 著
交通新聞社

技術の結集から生まれる日本の鉄道。車両関連の部品から、駅、線路にかかわる施設まで、それぞれの「匠」を極めるメーカーの現場を訪ね歩いたルポ。『JR ガゼット』連載を再編集し書籍化。

2019:6./ 239p
978-4-330-97119-3
本体 ¥800+税



日本経済新聞 2019/08/03



稽古の思想

西平 直 著
春秋社

「稽古」とはいかなる思想か。そこに秘められた「智恵」が意味するものとは。教育人間学・死生学・哲学を専門とする著者が、「稽古」を知の地平に解き放ち、こころとからだの世界のありかを探る。

2019:4./ 12p,181p
978-4-393-31303-9
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2019/08/03



ボランティアとファシズム～自発性と社会貢献の近現代史～

池田 浩士 著
人文書院

日本のボランティアは関東大震災後の救護活動及びセツルメントの開設に端を発する。ヒトラー・ドイツに学んだ日本国家が彼らの社会貢献を制度化し、「勤労奉仕」に組み換える形で戦時体制に取り込んでゆく過程を明らかにする。

2019:5./ 395p
978-4-409-52077-2
本体 ¥4,500+税



日本経済新聞 2019/08/03



若き日の哀しみ(創元ライブラリ Lキ 1-1)

ダニロ・キシユ、山崎 佳代子 著
東京創元社

ユダヤ人であった父親は強制収容所に送られ、二度と帰ってくることはなかった。第二次世界大戦中に少年時代を送った旧ユーゴスラビアの作家ダニロ・キシユの自伝的連作短編集。悲愴感を和らげるアイロニーと抒情をもつ作品。

2013:9./ 221p
978-4-488-07072-4
本体 ¥900+税



日本経済新聞 2019/08/03



「つながり」の創りかた～新時代の収益化戦略リカーリングモデル～

川上 昌直 著
東洋経済新報社

売り切り企業が、リカーリングモデルに転身して成功する条件とは。サブスクリプションをはじめとする「リカーリングモデル」と「つながり」をテーマに、これからのビジネスのあり方を解き明かす。

2019:6./ 6p,269p,8p
978-4-492-53412-0
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2019/08/03



創発型責任経営～新しいつながりの経営モデル～

國部 克彦、西谷 公孝、北田 皓嗣、安藤 光展 著
日本経済新聞出版社

創発型責任経営は、従来の CSR の範囲を超えた、新しいつながりを創り出す経営手法である。オムロン、ブリヂストン、丸井グループ、ヤフー、三菱重工業グループなど先進企業の具体的な事例を紹介しながら解説する。

2019:6./ 265p
978-4-532-32286-1
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2019/08/03



なぜ、男子は突然、草食化したのか～統計データが解き明かす日本の変化～

本川 裕 著
日本経済新聞出版社

統計データのナゾを解き、現代社会の特徴や日本社会の変化を提示。統計リテラシーが身につく知的エンターテインメント。統計資料の収集・分析技法を紹介するコラムも収録。『ダイヤモンド・オンライン』連載を加筆し書籍化。

2019:5./ 329p
978-4-532-35819-8
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2019/08/03



新全体主義の思想史～コロンビア大学現代中国講義～

張 博樹、石井 知章、及川 淳子、中村 達雄 著
白水社

<党=国家>による苛烈な独裁下、思想はいかにして可能か? 行動する知識人・張博樹が、天安門事件以来の中国政治思潮について考察する。米国コロンビア大学での講義録をもとに単行本化。

2019:5./ 407p,27p
978-4-560-09699-4
本体 ¥4,200+税



日本経済新聞 2019/08/03



わたちのアンダーグラウンド～戦後横浜の光と闇～

山崎 洋子 著
亜紀書房

戦後、日本人女性と米兵の間に生まれた「子どもたち」、経済成長の陰で地を這うように生きた「わたち」は、その後どんな運命をたどったのか。数多くの証言をもとに、華やかな横浜の裏の歴史を描き出すノンフィクション。

2019:4./ 323p
978-4-7505-1581-6
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2019/08/03



「かわいい」のちから～実験で探るその心理～(DOJIN 選書 81)

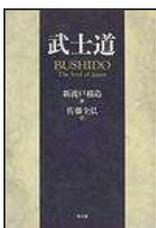
入戸野 宏 著
化学同人

「かわいい」とは、そもそもどんなものなのか。かわいい色や形、年齢や性別によるかわいいの感じ方の違い、かわいいものに近づきたくなる心理などに実験心理学という手法で迫り、「かわいい」の力を探る。

2019:6./ 247p
978-4-7598-1681-5
本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2019/08/03



武士道～日本のこころ日本思想の解明～

新渡戸 稲造、佐藤 全弘 著
教文館

日本人の精神形成の由来を「武士道」に見出し、日本人の自己認識と東西融和の基礎を示した、国際的名著の新訳。

2000:1./ 251p,6p
978-4-7642-6624-7
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2019/08/03



練習は不可能を可能にする

小泉 信三、山内 慶太、神吉 創二 著
慶應義塾大学出版会

果敢なる闘士たれ、潔よき敗者たれ。経済学者・社会思想家であり、慶應義塾長であった小泉信三が遺した、スポーツにまつわる随想集。

日本経済新聞 2019/08/03

2004:4./ 312p
978-4-7664-1062-4

本体 ¥2,400+税



ハビタ・ランドスケープ

滝澤 恭平、渋谷 健太郎 著
木楽舎

我々の祖先はどのようにランドスケープ(風景)を棲みこなしてきたのか。人間と環境の相互関係により生み出された風景のあり方に「ハビタ・ランドスケープ」と名を与え、国内 37 箇所の風土を訪ねる。『ソトコト』連載に加筆。

日本経済新聞 2019/08/03

2019:6./ 343p

978-4-86324-130-5

本体 ¥1,800+税



戦争の記憶～コロンビア大学特別講義-学生との対話-～(講談社現代新書 2531)

キャロル・グラック 著
講談社

「戦争の記憶」はいかにして作られるのか。「慰安婦」の記憶とは-。米コロンビア大学教授が、各国の学生との対話を通じて、「歴史」と「記憶」の意味を探る特別授業。『ニューズウィーク日本版』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2019/08/03、朝日新聞 2019/08/17

2019:7./ 197p

978-4-06-515430-4

本体 ¥840+税



刑罰

フェルディナント・フォン・シーラッハ、酒寄 進一 著
東京創元社

誤って赤ん坊を死なせたという夫を信じて罪を肩代わりした母親。犯罪組織のボスを弁護する新人弁護士…。異様な罪を犯した人々の素顔や、刑罰を科されぬまま世界からこぼれ落ちた罪の真相を、切なくも鮮やかに描き出す。

日本経済新聞 2019/08/03、朝日新聞 2019/08/24

2019:6./ 213p

978-4-488-01090-4

本体 ¥1,700+税



?の科学～粉が生み出す豊かな食感・香り・うまみ～(ブルーバックス B-2105)

山田 昌治 著
講談社

うどん、蕎麦、ラーメン、パスタ、素?...。何が食感をよくし、何が香りや風味の素となるのか、科学の視点で迫る。さらに、さまざまな実験を通して、?をよりおいしく食べるコツの数々を紹介する。

日本経済新聞 2019/08/10

2019:7./ 238p

978-4-06-516745-8

本体 ¥1,000+税



東京湾の向こうにある世界は、すべて造り物だと思ふ(新潮文庫 nex な-103-1)

中西 鼎 著
新潮社

軽音部室で殺された女の子、ミズ。それから 5 年、抜け殻のような日々を過ごしていた僕の前に、彼女は突然現れた。高校生の姿のまま、僕にしか見えない彼女に振り回されて、あの日から止まったままの時間が動き出し…。

日本経済新聞 2019/08/10

2019:8./ 296p

978-4-10-180159-9

本体 ¥590+税





藩とは何か～「江戸の泰平」はいかに誕生したか～(中公新書 2552)

藤田 達生 著
中央公論新社

戦国大名はいかにして「国家の官僚」たる藩主へと変貌したのか。家康の参謀・藤堂高虎が辣腕を振るった幕藩国家の誕生過程をたどり、江戸時代の平和の基盤となった藩の歴史的意義を明らかにする。

2019:7./ 11p,248p
978-4-12-102552-4

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2019/08/10



「いいね!」戦争～兵器化するソーシャルメディア～

P.W.シンガー、エマーソン・T.ブルッキング、小林 由香利 著
NHK出版

政治や戦争のあり方を世界中で根底から変えた SNS。インターネットは新たな戦場と化し、情報は重要な兵器となった。軍事研究と SNS 研究の第一線で活躍する著者が、誰もが当事者になり得る新種の戦争の本質に迫る。

2019:6./ 444p

978-4-14-081779-7

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2019/08/10



中央銀行の罪～市場を操るペテンの内幕～

ミ・プリンス、藤井 清美 著
早川書房

金融危機を機に伝統的な役割から逸脱し、市場に大量のマネーを流し込む各国中央銀行。だがそれは市民生活を脅かす次なる危機を招き、ウォール街出身のジャーナリストが、各国中央銀行の結託と危険なギャンブルの実態を暴く。

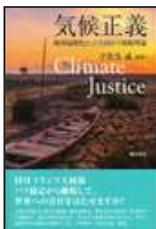
2019:6./ 442p

978-4-15-209866-5

本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2019/08/10



気候正義～地球温暖化に立ち向かう規範理論～

宇佐美 誠 著
勁草書房

気候変動や気候変動政策をめぐる哲学的・倫理的な諸論点に取り組む新たな研究領域「気候正義」の論集。気候正義やそれに密接に関連する論点について、法哲学・政治哲学・経済哲学など、多様な観点から考察を行う。

2019:1./ 13p,216p

978-4-326-10272-3

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2019/08/10



ルポ人は科学が苦手～アメリカ「科学不信」の現場から～(光文社新書 1003)

三井 誠 著
光文社

特派員としてアメリカで科学取材を始めた著者が実感したのは、意外なほどに広がる「科学への不信」だった。その背景には何があるのか。先進各国に共通する「科学と社会を巡る不協和音」という課題を描く。

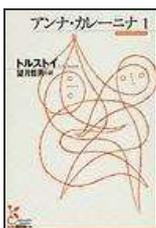
2019:5./ 242p

978-4-334-04410-7

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2019/08/10



アンナ・カレーニナ<1>(光文社古典新訳文庫)

トルストイ 著
光文社

日本経済新聞 2019/08/10

2008:7./ 602p

978-4-334-75159-3

本体 ¥1,100+税





台湾総督府(ちくま学芸文庫 コ48-1)

黄昭堂 著
筑摩書房

清朝中国から台湾を割譲させた日本は、新たな統括官庁として台湾総督府を組織した。初期武官総督時代から植民地時代の終焉までの日本支配の全貌を追うとともに、その軍事権・行政権・立法権・司法権の実態を探る。

2019:6./ 285p
978-4-480-09932-7
本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2019/08/10



純粋機械化経済～頭脳資本主義と日本の没落～

井上 智洋 著
日本経済新聞出版社

AI(人工知能)とはいかなる技術で、どのように人類の労働と社会構造を変化させるのか。初めて知性を獲得した「機械」が持つ巨大な力の正体に迫り、その哲学的な意味や経済的・社会的な影響について多角的に解き明かす。

2019:5./ 6p,488p
978-4-532-35818-1
本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2019/08/10



選挙制を疑う(サピエンティア 58)

D.ヴァン・レイブルック、岡崎 晴輝、D.ヴァンオーヴェルベーク 著
法政大学出版局

現代の民主主義諸国が直面する「民主主義疲れ症候群」の原因が、「選挙型」代議制民主主義にあることを明らかにし、古代ギリシアなどの抽選制の政治的伝統や、現代の抽選制の理論と実践を踏まえ、抽選制議会の構想を示す。

2019:4./ 5p,233p,11p
978-4-588-60358-7
本体 ¥3,400+税



日本経済新聞 2019/08/10



女性のための鉄道旅行入門(旅鉄 HOW TO 001)

蜂谷 あす美 著
山と溪谷社

自分だけのとおきおきの鉄道旅行に出かけよう! 乗車中の過ごし方、旅行計画の作り方、きっぷの買い方、荷造りなど、女性目線の鉄道旅行の知恵を紹介し、ちょっとした疑問を解決する。データ:2019年6月現在。

2019:7./ 205p
978-4-635-82163-6
本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2019/08/10



外は夏(となりの国のものがたり 03)

キム エラン、古川 綾子 著
亜紀書房

いつのまにか失われた恋人への思い、愛犬との別れ、消えゆく千の言語を収めた奇妙な博物館…。韓国文学の旗手が「喪失」をテーマに紡いだ短編集。「立冬」をはじめ全7編を収録する。

2019:6./ 284p
978-4-7505-1593-9
本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2019/08/10



大分断～格差と停滞を生んだ「現状満足階級」の実像～

タイラー・コーエン、池村 千秋 著
NTT出版

安定・安全志向で変化を嫌う「現状満足階級」の台頭が大分断を拡大させ、イノベーションを減退させる。社会階層の流動性はなぜ失われた? 開拓者精神を失った世界はどこに向かう? 「変わらない時代」の快適さに警鐘を鳴らす。

2019:6./ 6p,318p
978-4-7571-2363-2
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2019/08/10



桃源の水脈～東アジア詩画の比較文化史～

芳賀 徹 著
名古屋大学出版会

東アジアの人びとの根源的な夢想と願望に根ざして作り上げられた、平和の小世界。古代中国に発し、詩的トポスとして幾多の詩文や絵画を生み出してきた「桃源郷」の系譜をまとめた比較詩画史。

2019:5./ 4p,358p,11p
978-4-8158-0946-1

本体 ¥3,600+税



日本経済新聞 2019/08/10



日本統治下の朝鮮シネマ群像～戦争と近代の同時代史～

下川 正晴 著
弦書房

映画監督・今井正や崔寅奎、女優・原節子…。あの時代、彼らは何を考え、どう行動したのか。1930?1940年代、日本統治下の国策映画と日朝映画人の個人史をもとに、植民地朝鮮の真相を探求する。

2019:5./ 325p

978-4-86329-188-1

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2019/08/10



ドラ猫進化論

沼田 朗 著
三賢社

変わりゆく暮らし、町並み、人情の隙をかいくぐり、ドラ猫たちはこの世をどう生き抜いてきたか。平安の世から江戸、昭和、今日に至るまで、変幻自在に繰り広げられたサバイバルの歴史と戦略を軽妙な筆致で綴る。

2019:6./ 269p

978-4-908655-13-5

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2019/08/10



ある「BC級戦犯」の手記

冬至 堅太郎、山折 哲雄 編
冬至 堅太郎 著
中央公論新社

昭和20年の「西部軍事件」にかかわり、敗戦後、BC級戦犯として裁判にかけられた元陸軍主計大尉・冬至堅太郎。絞首刑判決、1年半後の減刑決定…。懊悩と苦闘の経験を綴った手記のほか、獄中で詠んだ短歌や俳句などを収録。

2019:7./ 365p

978-4-12-005215-6

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2019/08/10、産経新聞 2019/08/11、東京・中日新聞 2019/08/18



東京大学駒場スタイル

東京大学教養学部 編
東京大学出版会

東京大学教養学部の創立70周年を記念し、教養学部・総合文化研究科(駒場)を広く紹介。新時代の教養教育の担い手にとどまらず、様々な研究でも最先端を走る東大駒場の知の現在と、変革し続ける教養学部のすべてを伝える。

2019:7./ 14p,211p

978-4-13-001351-2

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2019/08/10、読売新聞 2019/08/18、朝日新聞 2019/08/24



男子が10代のうちに考えておきたいこと(岩波ジュニア新書 900)

田中 俊之 著
岩波書店

高校生にとって、進学は定年退職までの人生を決めてしまうような重大な選択。「男」という性別が、男子の生き方にどのような影響を与えるのかを解説し、男子に自分が進む道について“落ち着いて”考える機会を提供する。

2019:7./ 17p,171p

978-4-00-500900-8

本体 ¥800+税



日本経済新聞 2019/08/17



魔除けの民俗学～家・道具・災害の俗信～(角川選書 623)

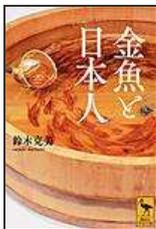
常光 徹 著
KADOKAWA

俗信には、災厄の予兆を感知し、日々の不安を除く生活の知と技がこめられていて、庶民の想像力と心のくせが凝縮した言い伝えといえる。膨大な俗信資料を整理し、伝承の背後に広がる民俗世界とその意味をさぐる。

日本経済新聞 2019/08/17

2019:7./ 267p
978-4-04-703679-6

本体 ¥1,700+税



金魚と日本人(講談社学術文庫 2576)

鈴木 克美 著
講談社

日本初の金魚の学術論文(1887)や日本産金魚の系譜、図版など、稀少史料を徹底検証。当時の暮らしを踏まえつつ、なぜこれほど日本人が金魚好きになったのか、飼育実用書が伝えきれなかった「金魚文化」の深部を呈示する。

日本経済新聞 2019/08/17

2019:8./ 253p

978-4-06-516882-0

本体 ¥1,000+税



インスマスの影～クトゥルー神話傑作選～(新潮文庫 ラ-19-1)

H.P.ラヴクラフト 著
新潮社

頹廢した港町インスマスを訪れた私は、魚類を思わせる人々の容貌の恐るべき秘密を知り…。表題作をはじめ、「異次元の色彩」「闇にささやくもの」など、ラヴクラフトがクトゥルー神話に関連して書いた小説全7篇を集成。

日本経済新聞 2019/08/17

2019:8./ 527p

978-4-10-240141-5

本体 ¥750+税



チェゲムのサンドロおじさん(文学の冒険シリーズ)

ファジリ・イスカンデル 著
国書刊行会

旧ソ連黒海沿岸の国アブハジアを舞台に、豪放磊落な主人公サンドロをめぐる繰り広げられるお話の数々から、公爵夫人との恋の顛末をめぐる表題作のほか、語りの魅力に満ちた7つの中短編を収録する。

日本経済新聞 2019/08/17

2002:1./ 441p

978-4-336-03957-6

本体 ¥2,800+税



観光公害～インバウンド4000万人時代の副作用～(祥伝社新書 574)

佐滝 剛弘 著
祥伝社

消費拡大の恩恵をもたらす一方、マナー違反や環境破壊などの副作用を生んだインバウンドの増加。日本各地のみならず海外の観光地にも足を運び、徹底したフィールドワークで観光公害の実態と解決方法を提示する。

日本経済新聞 2019/08/17

2019:7./ 259p

978-4-396-11574-6

本体 ¥840+税



長寿時代の医療・ケア～エンドオブライフの論理と倫理～(ちくま新書 シリーズケアをを考える 1333-6)

会田 薫子 著
筑摩書房

医療・ケアの現場を丹念に調査し、人生の最終段階における医療はどうあるべきか、その考え方を示す。老年医学と臨床倫理の知見を踏まえつつ、超高齢社会における医療とケアの役割を整理する。

日本経済新聞 2019/08/17

2019:7./ 292p,10p

978-4-480-07239-9

本体 ¥900+税





逆転のイギリス史～衰退しない国家～

玉木 俊明 著

日本経済新聞出版社

フランスに敗れ、辺境の島国に転落したイギリスは、産業革命ではなく金融業によってヘゲモニー国家になり、現在もそのおかげで衰退していない。政治から経済まで様々なエピソードを交えて、大国に成り上がるまでを解明する。

日本経済新聞 2019/08/17

2019:7./ 6p,262p

978-4-532-17665-5

本体 ¥1,700+税



なぜ脳はアートがわかるのか～現代美術史から学ぶ脳科学入門～

エリック・R.カandel、高橋 洋 著

青土社

絵画を「よい」と思うとき、脳では何が起きているのか。複雑怪奇な現代アートが「わかる」とは。脳科学、医学、認知心理学、行動科学から美学、哲学まで、あらゆる知を総動員し、人間の美的体験のメカニズムを解き明かす。

日本経済新聞 2019/08/17

2019:6./ 216p,24p

978-4-7917-7175-2

本体 ¥3,200+税



楽天 IR 戦記～「株を買ってもらえる会社」の作り方～

市川 祐子 著

日経BP社

常識を超える挑戦、増資、ガバナンス。様々な局面で「ひとり IR」時代から 12 年にわたりマーケットと格闘した著者が、「株を買ってもらえる会社」を目指した IR(インベスター・リレーションズ)の実録。ミニ用語事典付き。

日本経済新聞 2019/08/17

2019:6./ 300p

978-4-8222-8968-3

本体 ¥2,000+税



わたしたちを救う経済学～破綻したからこそ見える世界の真実～(ele-king books)

Pヴァイン

日本経済新聞 2019/08/17

2019:7.

978-4-909483-34-8

本体 ¥3,130+税



ずっとこの雑誌のことを書こうと思っていた。

鏡 明 著

フリースタイル

この雑誌がなかったら、いまのぼくはなかった。著者が少年のときに会った雑誌『マンハント』を通して、ポピュラー・カルチャーとは何かを考える。『フリースタイル』連載を改題して単行本化。

日本経済新聞 2019/08/17

2019:7./ 378p 図版

16p

978-4-939138-96-6

本体 ¥2,200+税



夏物語

川上 未映子 著

文藝春秋

パートナーなしの妊娠・出産を目指す夏子。彼女のまえに、精子提供で生まれ「父の顔」を知らない潤が現れ…。芥川賞受賞作「乳と卵」の登場人物たちが新たに織りなす物語。『文學界』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2019/08/17、朝日新聞 2019/08/24

2019:7./ 545p

978-4-16-391054-3

本体 ¥1,800+税





陸軍特別攻撃隊<1>(文春学藝ライブラリー)

高木 俊朗 著
文藝春秋

なぜ現場の反対を押し切って、体当たり攻撃が決定されたのか。“死の触角”を持つ特攻機の実態は。最初の特攻隊員らの行動と苦悩とは…。陸軍特別攻撃隊の真実の姿を、当事者への膨大な取材と、手紙・日記等を通して描く。

日本経済新聞 2019/08/18

2018:12./ 573p
978-4-16-813077-9
本体 ¥1,580+税



陸軍特別攻撃隊<2>(文春学藝ライブラリー)

高木 俊朗 著
文藝春秋

昭和 19 年 11 月、新たな特攻隊が次々と投入された。大本営は実態とかけ離れた戦果を発表し、国民を欺く。“処刑飛行”を強いられた“生きた軍神”、重爆特攻の悲劇、動揺する四航軍司令官…陸軍特別攻撃隊の真実の姿を描く。

日本経済新聞 2019/08/18

2019:1./ 590p
978-4-16-813078-6
本体 ¥1,600+税



陸軍特別攻撃隊<3>(文春学藝ライブラリー)

高木 俊朗 著
文藝春秋

昭和 20 年、連合軍がルソン島に上陸開始。司令官富永中将や参謀らは、いち早く台湾へ逃亡。取り残された兵士らを待つのは、飢餓と熱病の地獄…。将官や兵士の戦後の姿まで描き、陸軍特攻の真実を伝える記念碑的作品、完結篇。

日本経済新聞 2019/08/18

2019:2./ 573p
978-4-16-813079-3
本体 ¥1,580+税



モンテニュー～人生を旅するための7章～(岩波新書 新赤版 1786)

宮下 志朗 著
岩波書店

狂気の時代をしなやかに生きたモンテニュー。本を愛し、旅を愛した彼が、ふつうのことばで生涯綴りつづけた書物こそが「エッセイ」の始まりだ。困難な時代を生きる私たちの心深くに沁み入る、「エッセイ」の人生哲学。

日本経済新聞 2019/08/24

2019:7./ 8p,227p,12p
978-4-00-431786-9
本体 ¥840+税



アメリカと戦いながら日本映画を観た(朝日文庫 こ22-3)

小林 信彦 著
朝日新聞出版

「ハワイ・マレー沖海戦」に始まる<山本嘉次郎の戦争三部作>、不世出の名優・阪東妻三郎演じる「無法松の一生」。1940?47 年、著者 8 歳から 15 歳までの日々を、戦時下の数々の映画とともに描いた私的ドキュメント。

日本経済新聞 2019/08/24

2019:7./ 258p
978-4-02-261978-5
本体 ¥680+税



平成家族～理想と現実の狭間で揺れる人たち～

朝日新聞取材班 著
朝日新聞出版

変わりゆく現実、追いつかない意識-。結婚、食、働き方、出産などをテーマに、古い制度と新たな価値観の狭間を生きる「平成時代の家族」の姿を追う。『withnews』連載等を書籍化。

日本経済新聞 2019/08/24

2019:4./ 278p
978-4-02-331783-3
本体 ¥1,400+税





人生のサバイバル力(17歳の特別教室)

佐藤 優 著
講談社

何のために勉強するのか? これからの時代をどう生きるか? 佐藤優が次世代に手渡す、ハードな世界を生き延びる知恵。沖縄県立久米島高等学校にて 2018 年 6 月に行われた特別授業を元に再構成。

日本経済新聞 2019/08/24

2019:8./ 124p

978-4-06-516769-4

本体 ¥1,200+税



答えより問いを探して(17歳の特別教室)

高橋 源一郎 著
講談社

「読む」と「書く」とおして、自分が変わる。人生が変わる。さあ、ことばをめぐる冒険の旅へ出かけよう! きのくに国際高等専修学校にて 2018 年 6 月に行われた特別授業を元に再構成。

日本経済新聞 2019/08/24

2019:8./ 141p

978-4-06-516929-2

本体 ¥1,200+税



われら(集英社文庫 サ7-1)

エヴゲーニイ・ザミャーチン、小笠原 豊樹 著
集英社

人々に名前はなく、ナンバー制。その行動は画一化され、建物はガラス張り。そして頂点に君臨する「慈愛の人」に逆らう者は、「機械」によって抹消される。1920 年代初頭にロシアで書かれたディストピア小説の先駆的名著。

日本経済新聞 2019/08/24

2018:1./ 323p

978-4-08-760743-7

本体 ¥760+税



赤ちゃんはことばをどう学ぶのか(中公新書ラクレ 663)

針生 悦子 著
中央公論新社

赤ちゃんはことばを発するまでこんなに「努力」していた! 「赤ちゃんは耳にした音をどうやってことばとして認識する?」「海外暮らしならバイリンガルに育つ?」など、子どもはどのように言語を身につけているのかを紹介。

日本経済新聞 2019/08/24

2019:8./ 214p

978-4-12-150663-4

本体 ¥820+税



神前酔狂宴

古谷田 奈月 著
河出書房新社

神社の結婚披露宴場で働く浜野、梶、倉地。配膳スタッフとして日々披露宴の「茶番」を演じるうちに、神社の祀る神が明治日本の軍神であることを知り…。結婚、家族、日本という壮大な茶番を切り裂く。『文藝』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2019/08/24

2019:7./ 226p

978-4-309-02808-8

本体 ¥1,600+税



一度死んだ僕の、車いす世界一周~No Rain, No Rainbow~

三代 達也 著
光文社

石畳地獄のヨーロッパ、尻に鞭打つ長距離列車…。世界はバリアに溢れている。でもあらゆるバリアは、人の手で越えられる! 車いすで、介助者なしのひとり旅をした著者が、波瀾万丈の 270 日間を綴る。

日本経済新聞 2019/08/24

2019:7./ 271p

978-4-334-95107-8

本体 ¥1,500+税





教師人生

フランク・マコート、豊田 淳 著

国書刊行会

教師としての赴任初日、生徒がサンドイッチを投げつけた。さて、こいつをどうするか？ 多感なアメリカのティーンエイジャーを相手に奮闘した 30 年の教師人生を、悲喜こもごもを交えて綴ったユーモアたっぷりの名作。

日本経済新聞 2019/08/24

2019:7./ 355p

978-4-336-06307-6

本体 ¥2,400+税



雑兵物語～現代語訳～(ちくま文庫 か 78-1)

筑摩書房

多くの武士が戦場心得の参考とした「雑兵物語」。江戸前期に成立し後期の 1846 年に刊行され一般にも流布した古典を、わかりやすい現代語訳とリアルな挿画で再現する。

日本経済新聞 2019/08/24

2019:7./ 164p

978-4-480-43605-4

本体 ¥840+税



グローバル・バリューチェーン～新・南北問題へのまなざし～

猪俣 哲史 著

日本経済新聞出版社

米中貿易戦争、地球温暖化、第 4 次産業革命-。新次元のグローバル化を分析する最先端実証研究。国際生産分業の実相と動態を、付加価値ベースで解明し、複雑化する「価値のゲーム」を読み解く。

日本経済新聞 2019/08/24

2019:6./ 269p

978-4-532-13494-5

本体 ¥2,500+税



農政改革～行政官の仕事と責任～

奥原 正明 著

日本経済新聞出版社

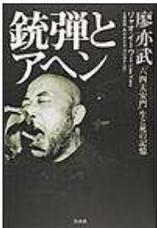
強い既得権、しがらみが存在する産業領域をどう変えるのか。行政官として、農協改革など数々の改革に携わった著者が、自身の経験を語り、農政を題材にして、行政官はどうあるべきかを考える。

日本経済新聞 2019/08/24

2019:7./ 283p

978-4-532-17668-6

本体 ¥1,600+税



銃弾とアヘン～「六四天安門」生と死の記憶～

廖 亦武、土屋 昌明、鳥本 まさき、及川 淳子 著

白水社

30 年前、天安門広場で何が起きたのか？ 民衆の視点から天安門事件の真相に迫り、今も続く当事者たちの苦難の道のりを追う。中国低層の声を記録しつづけてきた亡命作家によるオーラルヒストリー。

日本経済新聞 2019/08/24

2019:6./ 370p

978-4-560-09698-7

本体 ¥3,600+税



大学なんか行っても意味はない？～教育反対の経済学～

ブライアン・カプラン、月谷 真紀 著

みすず書房

教育の最大の役割は学生のスキルを伸ばすことではなく、協調性などへのお墨付きを与えることにある。経済学の概念「シグナリング」をキーワードに、現在の教育システムの問題点を実証データで分析、問題解決への道筋を示す。

日本経済新聞 2019/08/24

2019:7./

11p,414p,104p

978-4-622-08819-6

本体 ¥4,600+税





フランスの同性婚と親子関係～ジェンダー平等と結婚・家族の変容～

イレーヌ・テリー、石田 久仁子、井上 たか子 著
明石書店

2013年、同性婚が法的に認められたフランス。その法的・社会的な歴史を紐解くとともに、男女平等の時代における親子関係の法的矛盾を明らかにすることで、抜本的な法改正のための議論の枠組みを提示する。

2019:1./ 205p
978-4-7503-4776-9
本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2019/08/24



<ハイブリッドな親子>の社会学～血縁・家族へのこだわりを解きほぐす～

野辺 陽子、松木 洋人、日比野 由利、和泉 広恵、土屋 敦 著
青弓社

代理出産、特別養子制度、里親、児童養護施設…。多様化し複雑化する昨今の<親子>事情の現状と問題点を指摘。血縁や実親子だけを軸に家族を考えることの弊害を明らかにして、ハイブリッドな親子関係がもつ可能性を描き出す。

2016:10./ 200p
978-4-7872-3407-0
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2019/08/24



分解の哲学～腐敗と発酵をめぐる思考～

藤原 辰史 著
青土社

世界は新品と廃棄物、生産と消費、生と死のあわいにある豊かさに満ち溢れている。歴史学、文学、生態学から在野の実践知までを横断する、<食>を思考するための新しい哲学。『現代思想』他掲載を書籍化。

2019:6./ 341p,4p
978-4-7917-7172-1
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2019/08/24



どうする?どうなる?これからの「国語」教育～大学入学共通テストと新学習指導要領をめぐる12の提言～

紅野 謙介 編
幻戯書房

「国語」の教育をめぐって、大きな改革の嵐が吹いている。高校・大学・予備校の現役教師たちが、改革にどのような問題点があるのか、またどこに本来の改革の可能性があるのかを論じる。「国語改革」問題・関連年表付き。

2019:8./ 251p
978-4-86488-173-9
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2019/08/24



ぱくりぱくられし

木皿 泉 著
紀伊國屋書店出版部

「木皿ドラマ」から名セリフを引きつつ、その創作の秘密、影響を受けた作品などを綴る。『scripta』連載を単行本化。『産経新聞』連載の「?のない青い空」、ラジオドラマ「け・へら・へら」のシナリオも収録。

2019:8./ 244p
978-4-314-01168-6
本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2019/08/24、読売新聞 2019/08/25



社会科学と因果分析～ウェーバーの方法論から知の現在へ～

佐藤 俊樹 著
岩波書店

マックス・ウェーバーが確立した「適合的因果」と呼ばれる因果分析の方法が、現代の社会科学の展開や論争にそのままつながっているとしたら? 従来のウェーバー像とは異なるその学術の姿を解明し、社会科学とは何かを考える。

2019:1./ 19p,407p,10p
978-4-00-061315-6
本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2019/08/31



生きるための図書館～一人ひとりのために～(岩波新書 新赤版 1783)

竹内 哲 著
岩波書店

子どもにも大人にも、図書館は多様な場であり、図書館員はそこで本との出会いをつくる。60 年以上にわたって図書館に携わってきた著者が、公立図書館設立への原動力となった文庫活動、学校図書館の試みなどについて語る。

2019:6./ 11p,224p
978-4-00-431783-8

本体 ¥780+税



日本経済新聞 2019/08/31



チェルノブイリの祈り～未来の物語～(岩波現代文庫 S(社会))

スベトラーナ・アレクシエービッチ 著
岩波書店

日本経済新聞 2019/08/31

2011:6./ 4p,311p
978-4-00-603225-8

本体 ¥1,040+税



秋本治の仕事術～『こち亀』作者が 40 年間休まず週刊連載を続けられた理由～

秋本 治 著
集英社

「明るく笑って生涯現役」が大鉄則!『週刊少年ジャンプ』で 40 年間連載を続けた秋本治が、その仕事術を初公開。時間術、発想術、健康術など「長く仕事を続ける」秘訣に迫る。おまけ漫画「両津勘吉の仕事術」も収録。

2019:8./ 189p
978-4-08-788010-6

本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2019/08/31



大隈重信<上> 「巨人」が夢見たもの(中公新書 2550)

伊藤 之雄 著
中央公論新社

政治家、言論人、早稲田大学初代総長など多面的な活動で知られる大隈重信。幕末に志士として活躍し、明治維新後は官僚、政変で失脚するも立憲改進黨を率い総理大臣になる。上は、若き日から念願の組閣までを描く。

2019:7./ 4p,509p
978-4-12-102550-0

本体 ¥1,100+税



日本経済新聞 2019/08/31



大隈重信<下> 「巨人」が築いたもの(中公新書 2551)

伊藤 之雄 著
中央公論新社

大隈内閣は 4 カ月で瓦解。日露戦争後に早稲田大学総長や文明論者として活動した。1914 年に 2 度目の組閣、第一次世界大戦にあたり日本の舵を取る。下は、1922 年に没するまでの「巨人」の後半生と晩年を辿る。

2019:7./ 379p
978-4-12-102551-7

本体 ¥1,000+税



日本経済新聞 2019/08/31



NOKIA 復活の軌跡

リスト・シラスマ、渡部 典子 著
早川書房

スマートフォン戦争に敗れ、倒産すら囁かれた“北欧の巨人”ノキアは、本業である携帯ビジネスを大胆に捨て、通信機器分野で奇跡の V 字回復を成し遂げた。立役者であるリスト・シラスマ会長が、その舞台裏を語る。

2019:7./ 430p
978-4-15-209872-6

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2019/08/31



IT 負債～基幹系システム「2025 年の崖」を飛び越えろ～

室脇 慶彦 著
日経BP社

日本で特に深刻な基幹系システムの老朽化。日本の IT システムの課題と進むべき方向性、米国の IT システムとの違い、政府が考えている日本企業の DX などを解説し、課題を解決できる新たなアーキテクチャーを示す。

日本経済新聞 2019/08/31

2019:6./ 262p
978-4-296-10302-7

本体 ¥2,200+税



町山智浩・春日太一の日本映画講義<戦争・パニック映画編>(河出新書 011)

町山 智浩、春日 太一 著
河出書房新社

日本の映画語りを牽引する町山智浩と春日太一が必見の作品を精選し、その魅力を語り尽くす映画入門。戦争・パニック映画編は、「人間の条件」などを収録。WOWOW オンライン「町山智浩の映画塾!」での対談等を書籍化。

日本経済新聞 2019/08/31

2019:7./ 290p
978-4-309-63111-0

本体 ¥880+税



データ分析の力～因果関係に迫る思考法～(光文社新書 878)

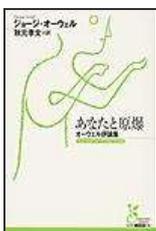
伊藤 公一朗 著
光文社

因果関係を見極めることがビジネスや政策の成功の鍵を握る理由を、様々な実例を使いながら解説。さらに、因果関係に迫る最先端のデータ分析手法について、数式を使わず、具体例とビジュアルな描写を用いて詳説する。

日本経済新聞 2019/08/31

2017:4./ 284p
978-4-334-03986-8

本体 ¥780+税



あなたと原爆～オーウェル評論集～(光文社古典新訳文庫 KA オ 5-1)

ジョージ・オーウェル 著
光文社

原爆投下のわずかふた月後、その後の核をめぐる米ソの対立を予見し「冷戦」と名付けた表題作をはじめ、「象を撃つ」「絞首刑」など 16 篇を収録。「一九八四年」に?がる先見性に富む評論集。

日本経済新聞 2019/08/31

2019:8./ 307p
978-4-334-75408-2

本体 ¥880+税



「原因と結果」の経済学～データから真実を見抜く思考法～

中室 牧子、津川 友介 著
ダイヤモンド社

因果推論を知れば、根拠のない通説にだまされなくなる!「因果推論」の根底にある考えかたをわかりやすく説明。また、因果推論とデータを用いた経済学の研究結果を紹介し、その解釈=読み解きかたについても解説する。

日本経済新聞 2019/08/31

2017:2./ 204p
978-4-478-03947-2

本体 ¥1,600+税



文豪たちの怪談ライブ(ちくま文庫 ひ 21-9)

東 雅夫 著
筑摩書房

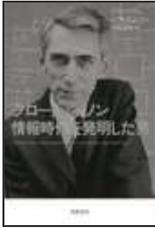
明治末?昭和初頭に起こった「怪談」ブーム。百物語怪談会(=怪談ライブ)に没頭したのは、泉鏡花を筆頭に柳田國男、芥川龍之介らの一流文化人たちだった。当時の文化・世相を解き明かしつつ、文豪たちの怪談実話を多数収録。

日本経済新聞 2019/08/31

2019:8./ 353p
978-4-480-43612-2

本体 ¥900+税





クロード・シャノン情報時代を発明した男

ジミー・ソニ、ロブ・グッドマン、小坂 恵理 著
筑摩書房

インターネット、携帯電話、電子メール...すべて、クロード・シャノンなしには実現しなかった。溢れんばかりのアイデアを生み出す源泉とは何だったのか。「情報理論の父」と呼ばれる孤高の天才数学者の生涯をたどる。

2019:6./ 430p
978-4-480-83720-2

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2019/08/31



脱毛の歴史～ムダ毛をめぐる社会・性・文化～

レベッカ・M.ハージグ、飯原 裕美 著

東京堂出版

体毛は誰にとって、どういった点で問題になるのか。脱毛とそれを取り巻く背景について、資料を辿りながら、歴史・社会・政治・経済などの様々な絡み合いを紹介し、明らかにする。

2019:7./ 343p

978-4-490-21014-9

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2019/08/31



夢見鳥

中村 吉右衛門 著

日本経済新聞出版社

一代で名優にのぼりつめた初代の跡を継ぐという重みが、さらなる高みを目指して、たゆまぬ修行に向かわせた。現代歌舞伎の第一人者が 75 年の半生を振り返る。『日本経済新聞』連載を加筆修正し単行本化。上演記録も掲載。

2019:8./ 279p

978-4-532-17670-9

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2019/08/31



政策評価のための因果関係の見つけ方～ランダム化比較試験入門～

エステル・デュフロ、レイチェル・グレナスター、マイケル・クレマー、小林 庸平、石川 貴之、井上 領介、名取 淳 著

日本評論社

経済学者にとって不可欠な研究ツール、ランダム化。因果推論の代表的手法であるランダム化比較試験(RCT)を用いた政策効果の測定方法を、第一人者が解説する。

2019:7./ 6p,151p

978-4-535-55934-9

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2019/08/31



「地球温暖化」の不都合な真実

マーク・モラノ、渡辺 正 著

日本評論社

地球温暖化に警鐘を鳴らし続ける国連や IPCC の真の狙いとは? 温暖化が原因とされる現象すべてに渡り、綿密な調査と説得力ある構成で疑問点を解消する書。人為的温暖化論のあやしさと犯罪性を浮き彫りにする。

2019:6./ 307p

978-4-535-78887-9

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2019/08/31



新インド入門～生活と統計からのアプローチ～

田中 洋二郎 著

白水社

牛肉輸出世界 1 位? ベジタリアン 3 億 7200 万人? GDP や人口構成、識字率や大学進学率などの統計データと、社会的イベントや流行を突き合わせることで、異形の大国インドの姿を浮かび上がらせる。

2019:7./ 234p

978-4-560-09707-6

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2019/08/31



移民とAIは日本を変えるか

翁 邦雄 著
慶應義塾大学出版会

21世紀に入り、人口減少に転じた日本。早くから日本経済の長期低迷の要因のひとつとして人口構造の変化に着目すべき、と唱えていた著者が、人口減少下の日本社会の変容を、移民とAIに焦点を当てて考察する。

日本経済新聞 2019/08/31

2019:7./ 10p,209p
978-4-7664-2611-3
本体 ¥2,000+税



おてんとさんに申し訳ない〜菅原文太伝〜

坂本 俊夫 著
現代書館

映画俳優として確固たる地位を築き、多くの映画ファンから愛された菅原文太。昭和の映画と映画俳優としての魅力を振り返りながら、晩年、有機無農薬農業に取り組み、科学万能主義へ警鐘を鳴らした彼の生涯を綴る。

日本経済新聞 2019/08/31

2019:5./ 278p
978-4-7684-5856-3
本体 ¥1,800+税



訣別<上>(講談社文庫 こ59-36)

マイクル・コナリー、古沢 嘉通 著
講談社

サンフェルナンドの市警察に誘われ、無給の嘱託刑事として勤務するボッシュは、私立探偵として個人的な仕事を受けていた。ある日、85歳の富豪ホイットニーから呼び出され、人捜しを依頼され....

毎日新聞 2019/08/03

2019:7./ 317p
978-4-06-512310-2
本体 ¥880+税



訣別<下>(講談社文庫 こ59-37)

マイクル・コナリー、古沢 嘉通 著
講談社

老い先短いことを悟った富豪には学生の頃、妊娠させながらも、親に仲を裂かれた恋人がいた。その子どもが生きていれば捜してほしいと頼まれたボッシュは調査を引き受ける。一方、同一犯によると思しき暴行未遂事件が起こり....

毎日新聞 2019/08/03

2019:7./ 345p
978-4-06-512311-9
本体 ¥900+税



いのち短し、踊れよ男子

安倍 雄太郎 著
小学館

日舞教室に通うことになった非モテ大学生の駿介。師匠の息子である吉樹とソリが合わず衝突するが、彼の踊りからは目が離せなくて。日本舞踊の名取が、厳しくも魅力的な芸事の世界を、熱くリアルに描いた長編小説。

毎日新聞 2019/08/03

2019:7./ 253p
978-4-09-386545-6
本体 ¥1,400+税



拉致と決断(新潮文庫 は-51-2)

蓮池 薫 著
新潮社

監視下の生活、偽装経歴、脱出の誘惑、飢餓と配給...。拉致被害者の著者が「北」での24年間を綴った迫真の手記。北朝鮮の招待所生活で接した人たちや平壤市内の市民等についても叙述する。拉致当日を記した原稿も収録。

毎日新聞 2019/08/04

2015:4./ 316p
978-4-10-136222-9
本体 ¥550+税





これからの「正義」の話しよう～いまを生き延びるための哲学～(ハヤカワ文庫 NF 376)

マイケル・サンデル 著
早川書房

「1人を殺せば5人が助かる。あなたはその1人を殺すべきか?」。正解のない究極の難問に挑み続ける、ハーバード大学の超人気哲学講義"JUSTICE"。社会現象を巻き起こした大ベストセラー、待望の文庫化。

2011:11./ 475p
978-4-15-050376-5
本体 ¥900+税



毎日新聞 2019/08/04



狂言を生きる

野村 万作 著
朝日出版社

戦後から現代に至る激動の時代を狂言師としてしなやかに生きてきた人間国宝・野村万作。芸の神髄に迫る狂言「芸話」、様々な邂逅、未来の狂言へのメッセージを収める。『東京新聞』連載他に加筆修正して書籍化。

2019:6./ 309p
978-4-255-01124-0
本体 ¥5,000+税



毎日新聞 2019/08/04

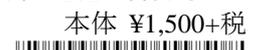


焼けあとのちかい

半藤 一利、塚本 やすし 著
大月書店

小学5年生でアメリカとの戦争が始まり、東京大空襲の猛火を生きのびたのが中学2年生のとき。焼け跡で誓ったことは…。東京の下町で生まれ育った作家・半藤一利が、少年時代の戦争体験を描いた絵本。

2019:7./ 1冊(ページ付なし)
978-4-272-40857-3
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/08/04



中国の領土紛争～武力行使と妥協の論理～

テイラー・フレイヴェル、松田 康博 著
勁草書房

中国はいつ武力行使に踏み切り、いつ妥協を選択するのか。アメリカ人中国研究者が、建国以来すべての領土紛争を検証し、中国の武力行使の条件を解き明かす。尖閣問題を論じた日本語版のためのエピソードも収録。

2019:7./
11p,377p,105p
978-4-326-30279-6
本体 ¥6,400+税



毎日新聞 2019/08/04



超不確実性時代のWTO～ナショナリズムの台頭とWTOの危機～

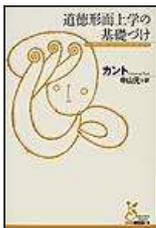
深作 喜一郎 著
勁草書房

「WTOの現代化」とは何か。日本が果たすべき役割とは。トランプ政権の通商政策の問題や、WTOが抱える今日的課題とその課題への取り組みについて平易に語る。

2019:6./ 5p,268p
978-4-326-50460-2
本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2019/08/04



道徳形而上学の基礎づけ(光文社古典新訳文庫 KBカ1-9)

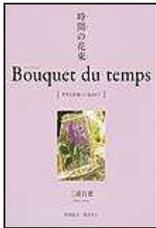
カント 著
光文社

なぜ?をついてはいけないのか? なぜ自殺をしてはいけないのか? 善と悪、義務、人格、自由と道徳性について考察し、経験的な根拠に依拠しない純粋な道徳の原理を探求する。

2012:8./ 410p
978-4-334-75252-1
本体 ¥1,080+税



毎日新聞 2019/08/04



時間(とき)の花束～幸せな出逢いに包まれて～

三浦 百恵 著
日本ヴォーグ社

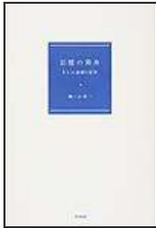
真摯に向き合った手づくりの時間が、人生を豊かに彩ることを教えてくれる-。三浦百恵のキルト作品集。人を思う愛に満ちあふれた作品を多数紹介する。キルトづくりの舞台裏のストーリーも掲載。

2019:8./ 127p
978-4-529-05901-5

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2019/08/04



記憶の箱舟～または読書の変容～

鶴ヶ谷 真一 著
白水社

西行はなぜ不吉とされる月蝕を詠んだのか? 書物の変遷と読書の変容。さらに両者の織りなす記憶という人間精神の多様ないとなみを、東西の知の歴史に重ね合わせる。

2019:5./ 260p,12p
978-4-560-09701-4

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2019/08/04



令和ニッポン改造論～選挙に不利でも言いたいマニフェスト～

玉木 雄一郎 著
毎日新聞出版

政治には夢があることを訴えたい! 野党代表にして自称「土着の保守政治家」が、斬新な憲法改正論や家計第一の経済政策、「子ども国債」による教育改革、国防としての農業など、新しい日本像をホンネで提示する。

2019:7./ 222p
978-4-620-32595-8

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2019/08/04



正義の境界

オノラ・オニール 著
みすず書房

ポスト・ロールズ時代のカント主義哲学は、「正義」に何をもちたらすのか。そして、ロールズのなしえなかった義務論にもとづくグローバルな正義の構想とは-。イギリスを代表するカント主義哲学者オノラ・オニールの思想の全貌。

2016:2./ 258p,40p
978-4-622-07955-2

本体 ¥5,200+税



毎日新聞 2019/08/04



左派ポピュリズムのために

シャンタル・ムフ、山本 圭、塩田 潤 著
明石書店

ベルギー出身の政治理論家シャンタル・ムフが、ギリシャのシリザ、スペインのポデモスなど、「解放志向」の左派ポピュリズム勢力をとり上げ、民主主義を回復・深化させるためのラディカル・デモクラシー戦略を説く。

2019:1./ 149p
978-4-7503-4772-1

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2019/08/04



私のイラストレーション史～1960-1980～

南 伸坊 著
亜紀書房

あの頃、イラストレーションという言葉には魔法がかかっていた-。小 6 から『ガロ』編集長時代まで、南伸坊が 1960?1980 年に目撃した日本のイラストレーション史を綴った、自伝エッセイ。『あき地』連載に加筆修正。

2019:5./ 284p
978-4-7505-1578-6

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/08/04



ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー〜The Real British Secondary School Days〜

ブレイディみかこ 著

新潮社

優等生の「ぼく」が通い始めたのは、人種も貧富もごちゃまぜの「元・底辺中学校」。世界の縮図のような日常を、思春期真っ只中の「ぼく」と著者である母は、ともに考え悩み乗り越え…。傑作エッセイ、『波』連載を書籍化。

2019:6./ 252p
978-4-10-352681-0

本体 ¥1,350+税



毎日新聞 2019/08/04、毎日新聞 2019/08/11、読売新聞 2019/08/25



むすび・言葉について 30章

中村 稔 著

青土社

私たちが社会から見捨てられ、孤立していると感じるとき、言葉は私たちをつつむ闇の隅にひっそり身を潜めている。言葉の本質、機能、生態などの省察を 14 行詩の形式で表現した作品集の第 3 集。

2019:7./ 127p

978-4-7917-7187-5

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/08/05



乙女の密告(新潮文庫 あ-75-1)

赤染 晶子 著

新潮社

ある外国語大学で流れた教授と女学生にまつわる黒い噂。乙女達が騒然とするなか、みか子はスピーチコンテストの課題「アンネの日記」のドイツ語のテキストの暗記に懸命になる。やがて噂の真相も明らかとなり…。

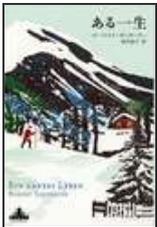
2013:1./ 102p

978-4-10-127351-8

本体 ¥340+税



毎日新聞 2019/08/11



ある一生(CREST BOOKS)

ローベルト・ゼーターラー 著

新潮社

20 世紀初頭、幼くして母を亡くし、アルプスの農場主のもと過酷な労働をしいられて育ったアンドレアス・エッガーはある日、雪山で瀕死のヤギ飼いと出会い、「死ぬときは氷の女に出会う」と告げられ…。恩寵に満ちた物語。

2019:6./ 153p

978-4-10-590158-5

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2019/08/11



アノネ、<上巻>

今日 マチ子 著

秋田書店

毎日新聞 2019/08/11

2012:12./ 207p

978-4-253-10477-7

本体 ¥950+税



アノネ、<下巻>

今日 マチ子 著

秋田書店

毎日新聞 2019/08/11

2013:7./ 228p

978-4-253-10501-9

本体 ¥950+税





埋葬からみた古墳時代～女性・親族・王権～(歴史文化ライブラリー 465)

清家 章 著
吉川弘文館

数多くの古墳群の発掘成果(埋葬施設・副葬品・人骨の性別)から埋葬のルール(埋葬原理)を抽出。古墳時代の親族・女性首長たちの活躍や王位継承のあり方を分析する。「王朝交替論」についても一石を投じる。

2018:5./ 7p,265p
978-4-642-05865-0

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/08/11



で、オリンピックやめませんか?

鶴飼 哲 編
亜紀書房

「国家的イベント」に問題はないのか? 2020年に開催される東京オリンピック、パラリンピック、ひいては近代オリンピックそのものが抱えているあらゆる問題を明らかにする講演と質疑応答を収録する。

2019:7./ 194p

978-4-7505-1603-5

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2019/08/11



漱石のいない写真～文豪たちの陰影～

前田 潤 著
現代書館

いかにして写真は日本人の日常に入り込んだか。偶発的に撮影され、『時事新報』に掲載された「秋晴れの上野」という夏目漱石の家族たちの写真を通して、大正・明治時代の著名人の写真観を考察する写真文化論。

2019:5./ 238p

978-4-7684-5854-9

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2019/08/11



バチカンと国際政治～宗教と国際機構の交錯～

松本 佐保 著
千倉書房

第二次世界大戦、冷戦、冷戦終結から民族紛争の噴出に至る国際社会の変動にカトリックの総本山・バチカンはどう向き合ったのか。ダイナミックな国際政治への関与を、国際機関や他宗派との連携の歴史と共に描きだす。

2019:4./ 17p,336p

978-4-8051-1144-4

本体 ¥4,500+税



毎日新聞 2019/08/11



ふたりの村上～村上春樹・村上龍論集成～

吉本 隆明 著
論創社

「ノルウェイの森」と「コインロッカー・ベイビーズ」で時代を象徴する作家となった村上春樹と村上龍の魅力、本質に迫る。吉本隆明が 57 歳から 73 歳までの 16 年間にわたって書き継いだ、村上春樹・村上龍論のすべてを収録。

2019:7./ 270p

978-4-8460-1828-3

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2019/08/11



親愛なるキティーたちへ

小林 エリカ 著
リトル・モア

ユダヤ人の少女、アンネ・フランク 13 歳と、著者の父、小林司 16 歳。戦争という同時代を生きた 2 人の日記に導かれ、ドイツ、ポーランド、オランダへ。死から生へと向かう、命の感触を求めた 17 日間の旅。

2011:6./ 245p

978-4-89815-312-3

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2019/08/11



極北のひかり

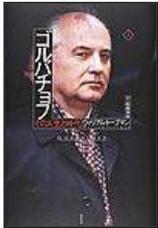
松本 紀生 著
クレヴィス

アラスカの原野でひとり、キャンプをしながら写真を撮る。生き方を模索していた若者が、極北の大自然に飛び込み 20 数年。マイナス 40 度の世界で見つけたものは。写真家・松本紀生によるアラスカ撮影紀行。

毎日新聞 2019/08/11

2019:4./ 237p
978-4-909532-21-3

本体 ¥1,600+税



ゴルバチョフ～その人生と時代～<上>

ウィリアム・トーブマン、松島 芳彦 著
白水社

冷戦終結 30 年にして解明される、ゴルバチョフという「謎」。ソ連改革から解体へと導いて「世界を変えた男」を、人間味豊かに描く。写真も多数収録。用語解説、人名索引、略語一覧付き。

毎日新聞 2019/08/11、朝日新聞 2019/08/17

2019:5./ 360p,58p
978-4-560-09696-3

本体 ¥4,700+税



ゴルバチョフ～その人生と時代～<下>

ウィリアム・トーブマン、松島 芳彦 著
白水社

冷戦終結 30 年にして解明される、ゴルバチョフという「謎」。クーデターから失脚後まで、「世界を変えた男」を、人間味豊かに描く。写真も多数収録。用語解説、人名索引、略語一覧付き。

毎日新聞 2019/08/11、朝日新聞 2019/08/17

2019:6./ 388p,86p
978-4-560-09697-0

本体 ¥4,800+税



「家族の幸せ」の経済学～データ分析でわかった結婚、出産、子育ての真実～(光文社新書 1015)

山口 慎太郎 著
光文社

「赤ちゃんには母乳が一番」「3 歳までは母親がつきっきりで子育てすべき」は間違い! 出産や子育てにおいて幅をきかせる科学的根拠を一切無視した「思い込み」を、気鋭の学者が最先端の経済学の手法で徹底的に論破する。

毎日新聞 2019/08/11、日本経済新聞 2019/08/24、毎日新聞 2019/08/25

2019:7./ 259p
978-4-334-04422-0

本体 ¥820+税



ルネ・シャール詩集～評伝を添えて～

ルネ・シャール、野村 喜和夫 著
河出書房新社

20 世紀フランス語圏を代表する詩人のひとり、ルネ・シャールの膨大ともいえる詩集から、代表的な 40 余篇を選び、現代詩の第一人者の新訳で収録。その詩と生涯を辿る評伝も付す。

毎日新聞 2019/08/12

2019:7./ 277p
978-4-309-20774-2

本体 ¥2,900+税



教育と愛国～誰が教室を窒息させるのか～

齊加 尚代、毎日放送映像取材班 著
岩波書店

「教科書採用を中止せよ」学校に押し寄せる抗議ハガキ。道徳や歴史教育を巡り、現場に圧力がかかっている背景を探る。2017 年度ギャラクシー賞大賞受賞番組に、大阪の教育行政の荒廃など多くの取材成果を盛り込み書籍化。

毎日新聞 2019/08/18

2019:5./ 15p,180p
978-4-00-061343-9

本体 ¥1,700+税





虐待死〜なぜ起きるのか、どう防ぐか〜(岩波新書 新赤版 1784)

川崎 二三彦 著
岩波書店

2000年に児童虐待防止法が施行されたが、虐待死は後を絶たない。児童相談所で虐待問題に取り組んできた著者が、発生の要因を考察。変容する家族や社会のありように着目し、問題の克服へ向けて具体的に提言する。

2019:7./ 6p,207p,7p
978-4-00-431784-5

本体 ¥780+税



毎日新聞 2019/08/18



かわいい女・犬を連れて奥さん 改版(新潮文庫)

チェーホフ 著
新潮社

毎日新聞 2019/08/18

2005:2./ 285p

978-4-10-206503-7

本体 ¥520+税



もっと言っはいけない(新潮新書 799)

橘 玲 著
新潮社

「多くの日本人は日本語が読めない」「学力、年収、老後の生活までが遺伝する」「現代は幸福を感じにくい」...。進化論、遺伝学、脳科学の最新知見から、「残酷で不愉快な真実」を明かす。

2019:1./ 251p

978-4-10-610799-3

本体 ¥800+税



毎日新聞 2019/08/18



服を作る〜モードを超えて〜 増補新版

山本 耀司、宮智 泉 著
中央公論新社

40年にわたるキャリアの中で、世界に衝撃を与え続けてきたファッション・デザイナー山本耀司。生い立ちから現在までを語った貴重な証言と100の質問で、魅力と創造の核心を明らかにする。新章を追加した増補新版。

2019:5./ 201p

978-4-12-005196-8

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2019/08/18



穴の町

ショーン・プレスコット、北田 絵里子 著
早川書房

郊外の名もなき町々についての作品を執筆中の「ぼく」。とある町に滞在し、誰も乗らないバスの運転手をはじめとする町の住人に取材をする。あるとき、街区に大きな穴が空き、町は消滅し始め...。滑稽で不気味な黙示録。

2019:7./ 265p

978-4-15-209871-9

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2019/08/18



夜の絵

村山 亜土、柚木 沙弥郎 著
筑摩書房

ある国のある町に年とった貧乏な絵描きが住んでいました...。児童劇作家・村山亜土の遺稿に触発された柚木沙弥郎が、布コラージュの技法で表現した、せつなくも美しい物語。2005年に私家本として刊行した幻の名作を復刊。

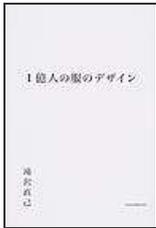
2019:7./ 1冊(ページ付なし)

978-4-480-80487-7

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2019/08/18



1億人の服のデザイン

滝沢 直己 著

日本経済新聞出版社

スティーブ・ジョブズ氏の T シャツ、サプライズの演出、僕が失敗から学んだこと…。イッセイミヤケで服作りを究め、ユニクロに新風を吹き込んだ、ファッションデザイナー・滝沢直己が綴る 30 話。

2014:11./ 185p

978-4-532-16948-0

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2019/08/18



数学書として憲法を読む～前広島市長の憲法・天皇論～

秋葉 忠利 著

法政大学出版局

日本国憲法はきちんと読まれているのだろうか？ 長らく平和運動の先頭に立ち、広島市長や平和市長会議会長を務めた著者が、一数学者の視点から、憲法条文のテキストそのものを文字通りに解釈する。

2019:7./ 8p,262p

978-4-588-62210-6

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2019/08/18



恐竜の世界史～負け犬が覇者となり、絶滅するまで～

スティーブ・ブルサッテ、黒川 耕大、土屋 健 著

みすず書房

化石を発見した瞬間の喜びや、研究者たちの交流のエピソード、恐竜の視点で描いた「絶滅の日」…。世界各地で発掘調査を行う若手恐竜学者が、最新の恐竜研究と恐竜たちの歴史を綴る。

2019:8./ 5p,323p,31p

978-4-622-08824-0

本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2019/08/18



知りたくなる韓国

新城 道彦、浅羽 祐樹、金 香男、春木 育美 著

有斐閣

韓国はどのような来歴をもち、国としてどのように舵を切り、人びとはどんな暮らしをしているのか。韓国の歴史、政治、社会、文化を解説し、その実像を伝える。高齢者の貧困や K-POP 等について記したコラムも掲載。

2019:7./ 10p,298p

978-4-641-17449-8

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/08/18



洋書天国へようこそ～深読みモダンクラシックス～

宮脇 孝雄 著

アルク

かつて読んだ名著の魅力を再発見！ 長年膨大な洋書におぼれてきた翻訳家が、主に 20 世紀の英語の古典を、作品の一部の原文・訳文を引用しながら紹介する。『マガジンアルク』連載に加筆修正し単行本化。

2019:7./ 262p

978-4-7574-3353-3

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2019/08/18



「国語」から旅立って(よりみちパン!セ YP07)

温 又柔 著

新曜社

母国語とアイデンティティ、歴史と境界線…。台湾生まれで「中国語がへたくそ」な日本語作家が、ことばを知り、文字を読み、文章を書く個人的な日々を綴る。

2019:5./ 259p

978-4-7885-1611-3

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2019/08/18



楽園の歴史<3> 喜びへの希望

ジャン・ドリュモア 著
新評論

「この地上に存続しているはずだと人々が信じた楽園」への希求を紹介する楽園の歴史。3 では、古代?20 世紀末、天国が形を変え、ついにはほとんど消えてしまうまでを、資料を駆使し、様々なテーマを見出し描写する。完結。

毎日新聞 2019/08/18

2019:6./ 722p
978-4-7948-1123-3
本体 ¥9,000+税



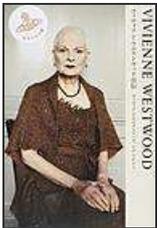
イチから分かる北方領土

北海道新聞社 著
北海道新聞社

日口間に初めて国境が画定した 1855 年以降の北方領土の歴史を、5 つの時期に分けて検証。ほか、色丹島のルポ、道内と北方領土それぞれの地域での世論調査、北方領土問題に関する過去の主な条約や国際合意などを収録する。

毎日新聞 2019/08/18

2019:6./ 126p
978-4-89453-951-8
本体 ¥800+税



VIVIENNE WESTWOOD~ヴィヴィアン・ウエストウッド自伝~

ヴィヴィアン・ウエストウッド、イアン・ケリー 著
DU BOOKS

「トップメゾンのデザイナーで唯一、本物の貧しさを味わったことがある人物」と評されるヴィヴィアン・ウエストウッド。波乱万丈な人生に起こったさまざまな出来事や出会った人々を、自身の思想も含めつづった、初の自叙伝。

毎日新聞 2019/08/18

2016:3./ 614p
978-4-907583-82-8
本体 ¥4,000+税



三体

劉 慈欣、大森 望、光吉 さくら、ワン チャイ、立原 透耶 著
早川書房

物理学者の父を文化大革命で亡くし、人類に絶望した中国人エリート科学者・葉文潔。ある日、彼女は謎めいた軍事基地にスカウトされる。そこでは、人類の運命を左右するかもしれないプロジェクトが極秘裏に進行していて...

毎日新聞 2019/08/18、日本経済新聞 2019/08/24、東京・中日新聞 2019/08/25

2019:7./ 447p
978-4-15-209870-2
本体 ¥1,900+税



危機を生きる言葉~2010年代現代詩クロニクル~

野村 喜和夫 著
思潮社

詩は、私たちの手を使って、未来からの言語が書かせるものである。2011 年?2018 年の詩的時評に、石原吉郎から小笠原鳥類までを論じた詩人論を交差させた、2010 年代現代詩のクロニクル。

毎日新聞 2019/08/19

2019:8./ 365p
978-4-7837-3820-6
本体 ¥3,200+税



季語を知る(角川選書 622)

片山 由美子 著
KADOKAWA

時に解釈の分かれる季語。古今の歳時記をひもとき、季語の本意と疑問点を明らかにする。実作・鑑賞に役立つ季語論。『俳句』連載にエッセイを加えて書籍化。

毎日新聞 2019/08/25

2019:6./ 235p
978-4-04-703678-9
本体 ¥1,600+税





パパの電話を待ちながら(講談社文庫 ろ 13-1)

ジャンニ・ロダーリ、内田 洋子 著

講談社

イタリア中を旅するセールスマン、ピアンキさんが、毎晩娘に電話で聞かせていた、いろいろなお話を集めました。シュールな展開に吹き出し、平和の尊さに涙する、きらめく珠玉のショートショート。

毎日新聞 2019/08/25

2014:2./ 204p

978-4-06-277762-9

本体 ¥770+税



神主と村の民俗誌(講談社学術文庫 2571)

神崎 宣武 著

講談社

氏神や産土神、株神など様々な神をお迎える神主。降臨する神とご先祖様を祀り家々と暮らしの安寧を祈る役割とは? 神主としての実践と民俗学者の視点から、村と祭りの現場を描く。

毎日新聞 2019/08/25

2019:7./ 267p

978-4-06-516645-1

本体 ¥1,070+税



ヒトラーの正体(小学館新書 353)

舛添 要一 著

小学館

ポピュリズム、反グローバル、排外主義。現代の病根を辿っていくと、20世紀最恐の暴君ヒトラーに行きつく。なぜ人びとは、この男を支持したのか。悲劇は止められなかったのか。ヒトラーを正しく恐れるための入門書。

毎日新聞 2019/08/25

2019:8./ 270p

978-4-09-825353-1

本体 ¥840+税



旅する絵描きタブローの向こうへ

いせ ひでこ 著

文藝春秋

名画をモチーフに描くうちに、心は若き日に移り住んだパリへ。画家・絵本作家のいせひでこが、描くことの喜びを絵とエッセイで表現する。松方幸次郎のタブローのコレクションの行方を描いた原田マハの連載小説の挿画も収録。

毎日新聞 2019/08/25

2019:7./ 56p

978-4-16-391064-2

本体 ¥1,850+税



入門組織開発～活き活きと働ける職場をつくる～(光文社新書 755)

中村 和彦 著

光文社

なぜ、組織の人的側面のマネジメントは重要な経営課題となるのか。組織開発が必要とされる理由、特徴と歴史、理論と手法などを、具体的な事例を交えて紹介する。組織開発の全体像が理解できる入門書。

毎日新聞 2019/08/25

2015:5./ 204p

978-4-334-03858-8

本体 ¥740+税



未来の戦死に向き合うためのノート

井上 義和 著

創元社

反戦平和のために受け入れて議論すべきは、「過去と未来の戦死」。現代日本社会分析を織り込みながら、未来の戦死に「向き合う」ことから、「条件付きで受け入れる」ことを志向し、真に有効な戦争抑止の規範や倫理を構築する。

毎日新聞 2019/08/25

2019:2./ 286p

978-4-422-30072-6

本体 ¥1,600+税





シェアド・リーダーシップ～チーム全員の影響力が職場を強くする～

石川 淳 著
中央経済社

「シェアド・リーダーシップ」とは、メンバー全員がリーダーシップを発揮できることを前提にした理論。職場をそのような状態にするために何が必要か。リーダーシップや組織行動論の最先端の研究成果を取り入れつつ解説する。

毎日新聞 2019/08/25

2016:11./ 224p
978-4-502-20351-0

本体 ¥2,400+税



なんにもなかった～戦中・戦後の暮しの記録 拾遺集戦後編～

暮らしの手帖社

1945年8月15日「玉音放送」の前後に、何があったか？何を思ったか？あの日を生きた人々が、その体験を綴る。「戦中・戦後の暮しの記録」で選外となった投稿から全49編を収録する。

毎日新聞 2019/08/25

2019:7./ 238p

978-4-7660-0214-0

本体 ¥1,700+税



世界はボーダーフル(ブックレット・ボーダーズ No.6)

岩下 明裕 著
北海道大学出版会

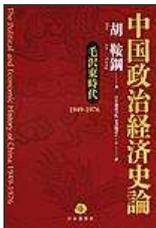
ボーダーツーリズムは国境の「壁」に苛まれ、展望が見いだせなかった地域や人々に勇気を与える試み。「壁」を越え、向こう側とつながることで地域を変えよう。『西日本新聞』連載を書籍化。

毎日新聞 2019/08/25

2019:7./ 61p

978-4-8329-6852-3

本体 ¥900+税



中国政治経済史論～毛沢東時代 1949-1976～

胡 鞍鋼、日中翻訳学院本書翻訳チーム 著
日本僑報社

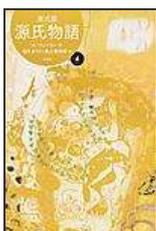
毛沢東時代はいかにして生まれたか。膨大な資料とデータを駆使し、新中国建国から第一次五カ年計画、大躍進、人民公社、文化大革命へ連なる政治経済史を立体的に描き、毛沢東時代の功罪と「中国近代化への道」を鋭く分析する。

毎日新聞 2019/08/25

2017:12./ 708p

978-4-86185-221-3

本体 ¥16,000+税



源氏物語～A・ウェイリー版～<4>

紫式部、アーサー・ウェイリー、毬矢 まりえ、森山 恵 著
左右社

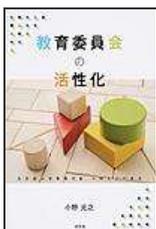
約100年前、イギリスのアーサー・ウェイリーが流麗で文学的に英訳した紫式部「源氏物語」を読みやすい日本語に再翻訳。登場人物の名前はカタカナで表記し、原著の和歌を挿入する。4は早蕨から夢浮橋までを収録。系図付き。

毎日新聞 2019/08/25

2019:7./ 638p

978-4-86528-200-9

本体 ¥3,200+税



教育委員会の活性化～元文部科学事務次官小野元之の直言～

小野 元之 著
悠光堂

教育委員会が変わらなければ、学校も変わらない。「ゆとり教育」を見直し、大学改革を推進した元文部科学事務次官・小野元之が、明治以降の地方教育行政の歴史を顧みつつ、日本の「教育委員会制度」について熱く語る。

毎日新聞 2019/08/25

2019:7./ 215p

978-4-909348-22-7

本体 ¥1,800+税

